

# 遺跡発掘調査報告書に基づく 『延喜式典薬寮』に記述された 「諸国進年料雑薬」の桃仁の自給について

The Production of the Tribute “*Tounin*” from Provinces Described  
as the Article “*Tenyakuryo*” in “*Engishiki*” Confirmed by the Data of Archeological Site Reports  
AMANO Makoto

天野 誠

## はじめに

『延喜式』巻37「典薬寮」は、律令に定められた法律の実施に伴う式であり、必要とされる細部を定めた細則である（以下「典薬式」と略称する）。「典薬式」には、様々な地域に関わる条文が記されており、平安初期の地方の実情を明らかにする事ができる。「典薬式」には、薬種の給付と貢納に関する条文が含まれている〔虎尾2017〕。貢納については、「諸国進年料雑薬」として、様々な薬種の貢納を義務付ける条項が含まれている。その中に記述されている植物性の薬種には、貢納を義務付けられた国に、自生する植物、栽培されている植物、日本では栽培されていなかったと考えられる植物から採取されるものがある。その国内に自生もしくは栽培されていて、それが納められる（すなわち自給できる）とすれば、費用は比較的少なくて済む。もし、中国もしくは韓半島から輸入したものを購入しなくてはならないとすれば、膨大な費用がかかる。薬種が自給できるかどうかは、貢納する側の諸国からすれば、重大な問題である。もし、それでも納めえないとすれば、条文が空文である可能性すら考えられる。

日本に自生せず、かつ栽培されていなかったと考えられる植物から取れる薬種（たとえば人参）に関しては、その入手法が問題となるが、ここでは触れないこととしたい。

日本に自生していない栽培植物については、栽培によって貢納できたかどうかを確かめる必要がある。当時、栽培されていたかを立証する方法には、文献資料による方法、木簡から推定する方法なども考えられるが、もっとも直接的な方法は、遺跡から発見される植物遺体を調査する方法である。本論文では、モモを材料として取り上げた。モモの核（内果皮）は木質化し、腐りにくいこと、植物遺体としては、非常に大きく、ふるいがけのみならず、取り上げの形でも遺跡から採集されるため、出土例が多い。また、他に似た植物はなく、証拠の画像がなくても、十分な確度で存在を検証できる。以上の点から、栽培されていた植物の中で、調査上、好条件のそろったモモを対象として、本研究を行った。

## 1 モモの栽培について

### (1) モモについて

モモは、中国原産で広く世界で栽培されているバラ科の高木である〔水上1989〕。モモには実を取るミモモと花を觀賞するハナモモがある。現在、日本で栽培されているミモモは、1875年に中国から導入された「上海水蜜桃」、天津水蜜桃、「ピントウ」の血を引いており、江戸時代以前のモモは小さいものであった。

『延喜式大膳下』には、「七寺孟蘭供養料」として、桃子四升が支給されている。計量方法は不明であるが、容積を単位とした計上がみえることは、桃子がある程度重ねても傷みにくいものであった可能性を示唆する。

明治時代でも、藤井〔1876〕によれば、在来品種の中で飛び抜けて果実の大きな品種「鎧通」は、周囲9寸5分に及ぶと記述している。これは現在の小さなモモの大きさに当たる。早熟種の「燕桃」に至っては、みかん箱1つに500顆を入れるという小型サイズであった。筆者がネパールのマルファ村でみたミモモも長さ4cm程度で、熟しても赤くならなかった。

江戸時代の代表的な農業書『農業全書』〔宮崎1697〕では、京都の伏見を代表的な桃の産地としている。桃は種子で繁殖させ、10年程度で植え替えしていたと記述している。

モモの現在の果実の生産量上位3県は、福島県、山梨県、長野県であり、乾燥した冷涼な気候が、果実としての商業的な栽培には適している。しかしながら、モモの栽培自体に関しては、山田〔1986〕が適地と土壌の項で「北海道から九州まで広く栽培できる」と述べているように「典藥式」に貢納を要求された諸国での栽培には特段に問題はない。

ハナモモも実は成るが、その大きさは小さく、赤く色づかない。ハナモモの1種、「源平しだれ」の熟した果実の大きさは長さ4cm、幅3cm程度で、食べてみた所、苦くはないものの甘味に乏しく、果肉も薄いものであった。古来、中国では、『詩経』の「桃夭」で知られるように花も觀賞されていた。モモの核を論議する際には、ミモモだけでなく、花を觀賞するハナモモの可能性も考慮しなくてはならない。

### (2) モモは自生か栽培か

モモは、日本では、縄文時代から栽培されているが、自生していないとされている〔三木1988、南木・粉川1990、南木1991〕。モモについては、日本の諸処に野生化していることが知られている〔堀田1980〕。三木〔1988〕は、モモが自生していなかったと考える理由について、下記のように述べている。「モモは中国よりある時期に渡来したものであると思われる。(中略)おそらく中国の黄河上流に発し、ひろく中国北・中部に栽培されていたモモのある品種がコメやマメ類などともに九州北部にもたらされたものであろう」。三木〔1988〕は、一方、スモモについては、日本列島に人類が定着する前の地層から、植物遺体が出土しているので、自生していたと考えている。モモもスモモと同様に堅い核を持っている。もし、モモが自生しているなら、モモの核が発見されてもよいではないか。広く第三紀の植物遺体を研究した三木の記述は重い意味を持っている。

### (3) 薬種としてのモモ

モモは、桃仁<sup>(1)</sup>という種子の部分が薬種として、利用されている。桃仁は、消炎性駆於血薬として、下腹部の満痛、腹部の血液の停滞、月経不順などに応用されている[難波 1980]。残念ながら、典薬寮の条文では、材料としての薬種の種類と分量が列記されているだけでどのような処方で使用されたかを詳らかにすることはできない。モモが薬種として利用されるためには、堅い核を割る行為が必要である。通常、中の柔らかい桃仁を取り出すためには、核の縫合部を堅いもので叩くまたは堅い物で割る必要がある。

## 2 モモの核の出土について

### (1) 遺跡発掘調査報告書に基づくモモの出土の確認方法

「典薬式」の条文では、モモの種子は、「桃人」の生薬名で、日本各地の国から、貢納されている。これらの国で、当時、モモが栽培されていたかを、全国の遺跡発掘調査書を調べて確認し、貢納の可能性を検討した。モモが出土した遺跡報告書の抽出には、国立歴史民俗博物館の植物遺体データベース[石田・工藤・百原 2016]を利用した(以下データベースと略称を用いる)。データベースから、キーワードのモモで検索し、モモという単語を含むデータをダウンロードした。このうち、モモ(*Amygdalis perisica* L.)に相当するデータを残した。次に「典薬式」成立以降の鎌倉時代以降のデータを削って、平安時代までのデータからなる祖表を作成した<sup>(2)</sup>。データベースは、現在の都道府県名で記述されているので、遺跡の市町村名から、旧国名を調べ、「諸国進年料雑薬」で桃人が記載されている国のデータを抽出した。非貢納国については、遺跡発掘調査報告書の悉皆調査はせず、少なくとも1国1遺跡を抽出調査した。

データベースの情報はその遺跡から出た遺物の全ての時代を網羅し、かつそこで、出土した全ての植物遺体の掲載されている頁が記述されている。データベースの注意書きに従い、遺跡発掘調査報告書に直接当たり、そこから、モモに関する頁のみを抽出し、画像がある場合には、モモの核であることを確認した。次にモモの核が出土した遺構を特定し、年代を絞り込んだ。平安時代初期もしくは、「典薬式」成立以前(西暦907年:10世紀初頭)と記述のあるものを採用し、**付表1**を作成した。

モモの核が出土する遺構は、住居跡などの土器の型式で比較的時期を特定しやすいものから、時期を特定しにくい土坑(おそらくゴミ捨て場)、井戸、溝、流路など多様であった。遺跡の当該箇所は、出土した土器等から平安時代初期以前と時期が特定できるものとそうでないものが混在している。溝や流路など比較的長い時間利用されて、大水などで自然のかく乱を受けた遺構の場合、様々な時代の遺物が整然と時代毎に層となって包含されているとは限らない。その場合は、中世以降の遺物が混入する場合には、出土例として取り上げなかった。

### (2) 遺跡で出土したモモの核について

桃の核が出土したことで、その当時、当該遺跡かその近くでモモが栽培されていたことは立証できる。しかしながら、モモが栽培されていることと桃仁が使用されていたことは同じではない。桃

仁を利用するためには、堅い桃の核を割る努力をしなくてはならない。

遺跡で出土したモモの核については、丸のままのもの、一部に穴の開いているもの、破片、半分に割られたものがある。

丸のままでの出土、一部に穴の開いているもの（ネズミの食痕）の場合は、廃棄した人は、中の桃仁には興味がなかったことを示す。一方、半分に割られた核が多数出土する場合には、中に興味があり、食用もしくは、薬用に利用された可能性が高い。残念ながら、多くの報告書では、核がどのような形状で出土したのか、加工痕があるかは分析されていないので、多くの遺跡において桃仁が意図的に利用されたのかは明らかではない。

桃崎[1993]は、来住廃寺遺跡において、半欠もしくは破片の桃の核（全体の18%）が不自然に多いことを指摘して、人為的に核を破碎したことの可能性を指摘している。青谷上寺地遺跡においても、弥生時代後期中葉から古墳時代後期以降の長い間、多数のモモの核が出土し、少なからぬモモ核が1/2の形（半割）で出土している[村田2012]。すでに弥生時代から、桃仁に人々が興味を示したことは、本研究の上では重要な意味を持っている。

さらに村田[2014]は、核の加工痕について、以下のように記述している。「加工痕については、核を割るために核の縫合部に硬質の何かを当て、切り込んだ痕の残る個体がしばしばみられる。特に半割された個体には、縫合部の一部になめらかな切り込み痕が残る、その丁度対称となる辺りに、核を割ったよう破断面が残るものが多い。これは材質については不明だが、核の縫合部の一部に刃状のものを当て、テコの原理で殻を割るという行為が行われていたことを示していると考えて差し支えないだろう。」

これらの観察例は、モモの果肉を食べるのみならず、核を意図的に割り、中の種子（桃仁）を利用したことを具体的に示している。

### (3) 『典築式』に記述された「諸国進年料雑築」の桃仁の自給の可能性について

表1に示すように下記の41ヶ国で、桃仁（桃人）または桃花が貢納を求められていた。摂津では、桃花も同様に、貢納されている（十両：単位は重さ）。

そのうち遺跡発掘報告書から桃核が報告された国は、37ヶ国である。少なくともこれらの国では平安初期以前にモモが一度は栽培されていたことが裏付けられた(付表1)。モモの出土報告数は、国毎に大きく異なる。付表1からモモが出土している貢納を義務付けられた国の遺跡名を以下に引用する。<sup>(3)</sup>各遺跡からの桃核の出土数は極端に多い大和の纏向遺跡を除けば、1遺跡あたり、1から多くても100を越える程度であった。

1. 山城は、平安京、大覚寺跡、市田齊当坊遺跡、長岡京跡、鶏冠井遺跡の5つであり、弥生、長岡京期、平安で出土しており、平安時代が多い。都の出土に関しては、栽培のみならず、他からの移入も考える必要がある。
2. 大和は、平城京跡、布留遺跡、和爾・森本遺跡、乙木・佐保庄遺跡、森本窪之庄遺跡、坪井遺跡、四条遺跡、曲川遺跡、上之宮遺跡、纏向遺跡、芝遺跡、脇本遺跡、発志院遺跡、南六条北ミノ遺跡、横田堂垣内遺跡、鴨神遺跡、鴨都波遺跡、本郷太田下遺跡、唐子・鍵遺跡、矢部遺跡、保津・宮古遺跡、箸尾遺跡、飛鳥京跡の23で、縄文から平安まで継続して出土している。

表 1 典葉式「諸国進年料雑葉」中の桃貢納国一覧

国名番号	国名	数量	単位	出土例
1	山城	桃人九升	体積	あり
2	大和	桃人二斗	体積	あり
3	摂津	桃人一升	体積	あり
4	伊賀	桃人五升	体積	あり
5	尾張	桃人二斗九升六合	体積	あり
6	参河	桃人一斗	体積	あり
7	遠江	桃人二斗四升	体積	あり
8	駿河	桃人一斗	体積	あり
9	伊豆	桃人一斗一升	体積	あり
10	相模	桃人三斗	体積	あり
11	武蔵	桃人四斗	体積	あり
12	安房	桃人六升	体積	なし
13	上総	桃人六斗	体積	あり
14	下総	桃人一斗	体積	あり
15	常陸	桃人二斗三升	体積	あり
16	近江	桃人一斗	体積	あり
17	美濃	桃人六斗三升	体積	あり
18	下野	桃人二斗	体積	あり
19	若狭	桃人八升	体積	なし
20	越前	桃人七升五合	体積	あり
21	能登	桃人二升	体積	あり
22	越中	桃人六升	体積	あり
23	丹波	桃人六升	体積	あり
24	丹後	桃人一斗五升	体積	なし
25	但馬	桃人一斗五升	体積	あり
26	因幡	桃人一斗	体積	あり
27	伯耆	桃人七升	体積	あり
28	出雲	桃人四升	体積	あり
29	播磨	桃人二斗	体積	あり
30	美作	桃人七升	体積	なし
31	備前	桃人六升	体積	あり
32	備中	桃人一斗	体積	あり
33	備後	桃人一斗一升	体積	あり
34	安芸	桃人三升	体積	あり
35	周防	桃人四升五合	体積	あり
36	長門	桃人四升	体積	あり
37	紀伊	桃人一斗	体積	あり
38	阿波	桃人二斗	体積	あり
39	讃岐	桃人一斗五升	体積	あり
40	伊予	桃人一斗	体積	あり
41	土佐	桃人四升	体積	あり

註(1) 国名番号は、「典葉寮」諸国進年料雑葉の記載順による  
 (2) データは、虎尾俊哉編『訳註日本史料 延喜式』下(集英社, 2017)による  
 (3) 摂津では桃花十両も貢納を要求されている

当時都であった所からの出土が目立つ。都では栽培のみならず、他からの移入も考える必要がある。

3. 摂津は、長原遺跡、細工谷遺跡、難波宮址、恵美須遺跡、亀井・城山遺跡、玉籥遺跡、芥川遺跡、玉津田中遺跡、北青木遺跡、白水遺跡、松野遺跡、御蔵遺跡、本庄町遺跡、雲井遺跡、上之島遺跡、田能遺跡、川除・藤ノ木遺跡の17で、弥生から平安まで継続して出土している。

4. 伊賀は、北堀池遺跡と城之遺跡の2つで、弥生と古墳から出土している。
5. 尾張は、志賀公園遺跡、朝日遺跡、一色青海遺跡の3つであり、弥生から飛鳥まで出土している。
6. 参河は、伊保遺跡、梅坪遺跡、南山畑遺跡、神明遺跡、川原遺跡、水入遺跡、古井堤遺跡、亀塚遺跡、坂戸遺跡、西浦遺跡の10で、弥生から奈良まで出土している。
7. 遠江は、伊場遺跡、梶子遺跡、玉越遺跡、上之平遺跡、南谷遺跡の5つで、弥生から平安まで、継続して出土している。
8. 駿河は、登呂遺跡、神明原・元宮川遺跡、雌鹿塚遺跡、池ヶ谷遺跡の4つで、弥生から平安まで出土している。
9. 伊豆は、山木遺跡1つで、時代は弥生である。
10. 相模は、草山遺跡、砂田台遺跡、下大槻峯遺跡、真田・北金目遺跡群、神明久保遺跡、湘南新道関連遺跡、池子遺跡群、三ッ俣遺跡の8つで、弥生から平安まで、継続して出土している。
11. 武蔵は、御殿前遺跡、袋低地遺跡、中里峡遺跡、宮掘北遺跡、田畑西台遺跡、四葉地区遺跡、早瀬前遺跡、菅原神社台地上遺跡、志村城山遺跡、徳丸原大橋遺跡、高島平北遺跡、北新宿二丁目遺跡、北新宿三丁目遺跡、下戸塚遺跡、伊興遺跡、柴又帝釈天遺跡、古録天東遺跡、東京外かく環状道路練馬地区遺跡、土器塚遺跡、上野忍岡遺跡、広町遺跡、落川遺跡、日野 No.16 遺跡、山王上遺跡、多摩ニュータウン No.107 遺跡、中田遺跡、武蔵国府関連遺跡、武蔵国分寺南西地区遺跡、木曾森野遺跡、多摩ニュータウン No.916 遺跡、中高瀬遺跡、小足立前原東遺跡、下大和田遺跡、落川・一の宮遺跡、下宅部遺跡、城山遺跡、志木市遺跡群、鍛冶谷・新田口遺跡、城敷遺跡、反町遺跡、前田字六反畑第一遺跡の41が記録されており、縄文から平安まで、継続して出土している。
13. 上総は、常代遺跡群、郡遺跡群、西原遺跡、上総金鈴塚古墳、草刈遺跡、国府関遺跡、岩川遺跡、芝崎遺跡の8つで、弥生から平安まで、継続して出土している。
14. 下総は、神門遺跡、有吉北貝塚、国府台遺跡、北下遺跡、木戸前遺跡、小野遺跡、津宮遺跡群、西根遺跡、夏見台遺跡、西原遺跡の10が記録されており、縄文から平安まで、継続して出土している。
15. 常陸は、武田遺跡群、武田・西塙遺跡、馬場遺跡、島名熊の山遺跡、実穀寺子遺跡、辰海道遺跡の6つで、古墳から平安まで継続して出土している。
16. 近江は、本願寺遺跡、入江内湖遺跡、入江内湖西野遺跡、石田遺跡、斗西遺跡、正楽寺遺跡、十里町遺跡、金剛寺遺跡、西河原宮ノ内・比留田法田遺跡、木部遺跡、宮町遺跡、吉身西遺跡、中兵庫遺跡、鴨遺跡の14が記録されており、縄文から平安まで、継続して出土している。
17. 美濃は、曾根八千町遺跡、荒尾南遺跡、今宿遺跡、顔戸南遺跡、尾元遺跡の5つで、弥生から平安まで、出土している。
18. 下野は、砂田 A 遺跡、下野国府跡寄居地区遺跡、森後遺跡、田ノ保遺跡、富士前遺跡、多功南原遺跡の6つで、古墳から平安まで、継続して出土している。
20. 越前は、四方谷岩伏遺跡1つで、時代は縄文である。
21. 能登は、小島西遺跡、国分 B 遺跡、三引遺跡、二口かみあれた遺跡、四柳白山下遺跡の5つで、縄文から奈良まで出土している。

22. 越中は、八町Ⅱ遺跡、今市遺跡、小竹貝塚、下老子笹川遺跡、東木津遺跡、石塚六方遺跡、上久津呂中屋遺跡、宇波西遺跡、石名田木舟遺跡、江上 A 遺跡の 10 が記録されており、弥生から平安まで、継続して出土している。
  23. 丹波は、横田遺跡 1 つで、時代は弥生から古墳である。
  25. 但馬は、五反田遺跡 1 つで、時代は古墳である。
  26. 因幡は、青谷上寺地遺跡、栗谷遺跡、本高下ノ谷遺跡の 3 つで、弥生から古墳まで、出土している。
  27. 伯耆は、妻木晩田遺跡、文殊領遺跡、古市遺跡、長瀬高浜遺跡、篁津乳母ヶ谷第 2 遺跡の 5 つで、弥生から平安まで、継続して出土している。
  28. 出雲は、山津遺跡、姫原西遺跡、出雲国府跡の 3 つで、弥生から奈良まで出土している。
  29. 播磨は、北条遺跡、上三河遺跡、亀田遺跡の 3 つで、縄文から弥生まで出土している。
  31. 備前は、百間川沢田遺跡と津島遺跡の 2 つで、弥生から古墳まで出土している。
  32. 備中は、上東遺跡と菅生小学校裏山遺跡の 2 つで、弥生から古墳まで出土している。
  33. 備後は、大宮遺跡 1 つで、時代は古墳である。
  34. 安芸は、助平 3 号遺跡 1 つで、時代は古墳である。
  35. 周防は、島田川遺跡と岡山遺跡の 2 つで、弥生から出土している。
  36. 長門は、柳瀬遺跡 1 つで、時代は弥生から平安まで、出土している。
  37. 紀伊は、太田・黒田遺跡、田屋遺跡、徳蔵地区遺跡の 3 つで、縄文から飛鳥まで出土している。
  38. 阿波は、庄遺跡 1 つで、時代は平安である。
  39. 讃岐は、空港跡地遺跡、原間遺跡、鴨部・川田遺跡、旧練兵場遺跡の 4 つで、弥生から出土している。
  40. 伊予は、古照遺跡、来住廃寺遺跡、多々羅製塩遺跡、釜ノ口遺跡、桑原遺跡、樽味四反地遺跡の 6 つで、弥生から古墳まで出土している。
  41. 土佐は、西鴨地遺跡と居徳遺跡の 2 つで、弥生から平安まで出土している。
- ※ 12. 安房, 19. 若狭, 24. 丹後, 30. 美作では、『延喜式』成立以前の桃の核の報告書はなかった。

律令国家成立後に限ると出土例がある国は 21 である。遺跡発掘調査報告書の数が 10 以上の 10 ケ国の中 10 ケ国で、奈良もしくは平安時代に記録がある。一方、遺跡発掘調査報告書の数が 9 以下の 27 ケ国の中で、11 ケ国しか奈良もしくは平安時代に記録がない。遺跡発掘調査報告書の数が出土例の数に関係している可能性がある。

遺跡調査の多くでは、必須項目ではない植物遺体の調査が行われていない。そのことが多くの国で 1 ケ所か数ヶ所からしか出土例がない理由の 1 つであろう。それが継続した出土記録が途絶えている理由でもある。現在の状況では、註 1 の前提の元に、本論文では「典薬式」が施行された時に、桃仁の自給が可能としている。今後、植物遺体の調査が普遍的に行われるようになれば、これらの空白は将来埋められるのではないか。

一方、非貢納国で桃の核が出土した遺跡のある国は以下の通り、24 ケ国、1 府である（付表 2）。すなわち、河内（禁野本町遺跡）、和泉（水込遺跡）、伊勢（村竹コノ遺跡、田丸道遺跡）、淡路（雨

流遺跡), 甲斐(銚子塚古墳, 美通遺跡), 信濃(芝宮中原遺跡), 上野(吹屋三角遺跡, 荒砥北三木堂遺跡, 元総社遺跡, 三室合ノ谷遺跡, 中高瀬観音山遺跡, 石墨遺跡, 長野原一本松遺跡, 白倉下原・天引遺跡, 斉田中耕地遺跡, 東峰須川雷電遺跡), 飛騨(深沼遺跡), 陸奥(御所野遺跡, 沼向遺跡), 出羽(高橋南遺跡, 手取清水遺跡), 岩代(桜町遺跡, 正直A遺跡), 磐城(折返A遺跡, 龍門寺遺跡), 越後(六斗蒔遺跡, 吉津川遺跡), 加賀(大友西遺跡, 千代・能美遺跡), 石見(道休畑遺跡, 堂ノ上遺跡), 大宰府(尾崎遺跡), 筑前(下付隈C遺跡), 筑後(久保遺跡, 蒲船津江頭遺跡, 新代広ミ遺跡), 豊前(古立東遺跡, 金山遺跡), 豊後(安国寺遺跡, 中川原遺跡), 肥前(久蘇遺跡, 牟田寄遺跡), 肥後(両迫間日渡遺跡, 下堀切遺跡), 日向(向原中尾第2遺跡, 平峰遺跡), 薩摩(南下遺跡), 大隅(上野原遺跡, 小瀬戸遺跡)である。非貢納国のうち, 佐渡, 隠岐, 壱岐, 対馬では, 桃の核の出土した遺跡はなかった。

貢納国と非貢納国との間には, 栽培面で有利・不利から生じる特段の違いは見受けられない。今回の解析手法では, 出土しないことと栽培されていなかったことは結びつけられない。ただし, いずれの場合も, 出土遺跡がない国は, 面積も人口も少ない小国であることには, 意味があるのかもしれない。

調査の結果, ほぼ全国にわたり, 平安時代前期以前に桃の核が出土していることが今回の調査で明らかになった。今回行った調査の限りでは, 律令国家段階に至って急激に増加した等の特段の状況は認められなかった。

奈良, 平安の出土例が少なく, 古墳期以降の記録が断絶している国が多い。これについては, 桃の栽培が衰えた可能性がある。また, 奈良時代, 平安時代初期が年代的に短いことも関係しているかもしれない。

現在, 桃の主要産地である山梨, 福島, 長野は貢納を求められておらず, 桃の栽培好適地が特に選ばれたとは考えにくい。信濃, 甲斐については, 杏仁の貢納が求められているので, 桃仁の貢納を免除されたのではないか。杏仁は, 天皇と中宮を含む限られた部署に供されているので, 桃仁の貢納より杏仁の貢納が優先されたと考えられる。現在, アンズは, 青森県と長野県が主要な生産県である。

その他の桃の核が出土する国のうち, 和泉, 筑前, 筑後, 豊前, 豊後, 肥前, 肥後, 日向, 薩摩, 大隅の10ヶ国は, 桃仁の「諸国進年料雑薬」における貢納を求められていなかった。九州の9ヶ国は, 大宰府の統治下にあったので, 桃仁に限らず, 薬種の貢納を求められなかったのであろう。和泉, 志摩, 隠岐, 壱岐, 対馬は, 理由は不明ながら, 桃仁に限らず, 貢納を求められていない。

## 結語

遺跡発掘調査報告書のデータを調べることで, 桃は律令国家成立以前から, 多くの国で生産されていることが明らかになった。桃仁に対しての国家の需要に既に答えられる状況にあったと考えられる。

桃仁の貢納を求められた大多数の国で栽培されていたことが遺跡発掘調査報告書の調査から確認でき, 「典薬式」の文献情報が, 考古資料で裏打ちされたこととなった。結論として, 概ね, 桃仁は, 貢納を科せられた国で自給しえたことが, 確かめられた。



大規模開発に伴う緊急調査の多寡や遺跡発掘調査報告書の数の偏りや植物遺物の調査自体の有無など、植物遺体の調査には、様々な社会的バイアスがかかるために、真に安房、若狭、丹後、美作の4ヶ国では、モモが当時栽培されていなかったかは、即断できない。今後、その他の確認方法も含めて検討していきたい。

## 謝辞

本論文は人間文化研究機構基幹研究プロジェクト「古代の百科全書『延喜式』の多分野協同研究」の成果である。本プロジェクトへの参加を勧められ、種々のアドバイスと文献の紹介をされた三上喜孝教授、小倉慈司博士、清武雄二氏には深謝申し上げる。また、文献の閲覧やコピーに便宜を図られた職員および司書の方々に感謝する。

## 註

(1)——本来ならば、律令制成立後、『延喜式』制定までの期間に、調査遺跡の対象を絞り込むことが、論文の趣旨からは望ましいが、出土した遺構によっては、土器の形式から推定される出土時代の推定が粗く、絞り込みが困難である。また、遺跡報告書が1または少数の国では、栽培の継続性を確かめるすべがない。この手法の限界である。江戸時代の代表的な農業書『農業全書』[宮崎 1697]によれば、単に果実を埋めることで、桃を繁殖させている。有用植物の桃は、簡単な方法で、増殖、

栽培の継続が可能であるから、平安時代より前に出土しているとすれば、平安時代まで栽培されていたと想定するのが妥当であろう。残念ながら、貢納国すべて、平安初期に桃が栽培されていたことを、現時点では完全には実証できない。

(2)——「典薬式」の条文では、通字の桃人と記述されているが、本論文では、薬種名として、桃仁の用語を用いる。

(3)——国の並びは、「典薬寮」の条項の順による。

## 引用文献

- 石田系絵・工藤雄一郎・百原 新 2016「日本の遺跡出土大型植物遺体データベース」『植生史研究』24-1 頁18-24  
虎尾俊哉編 2017「延喜式」『訳註日本史料(下)』集英社 頁457-499  
難波恒雄 1980「桃仁」『原色和漢薬図鑑(上)』保育社 頁276-277  
藤井 徹 1876「第一百章 桃」『葉木栽培法卷之七』藤井 徹 頁16-22  
堀田 満 1980「モモ・ビワ」『植物の生活誌』平凡社 頁136-142  
三木 茂 1988「A. バラ科の果樹」『2生業 古墳時代の研究』雄山閣出版株式会社 頁112-113  
水上静夫 1989「モモ」『園芸植物大事典5 メテ〜ワン』小学館 頁40-46  
南木陸彦 1991「栽培植物」『4生産と流通I 古墳時代の研究』雄山閣出版株式会社 頁168-171  
南木陸彦・粉川昭平 1990「伊木力遺跡の大型植物遺体」『伊木力遺跡—長崎県西彼杵郡多良見町舟津郷所在—』同志社大学文学部文化学科内考古学研究室 頁642-680  
宮崎安貞 1697「桃 第十一」『農業全書卷の八』頁277-278 [岩波文庫版]  
村田泰輔 2012「自然科学分析等の成果—種実遺体の検討」『青谷上寺地遺跡12—第11・12次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告46』鳥取県埋蔵文化財センター 頁240-243  
村田泰輔 2014「種実遺体の検討」『青谷上寺地遺跡13—第13次・第14次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告59』鳥取県埋蔵文化財センター 頁288-297  
桃崎祐輔 1993「自然科学分析—種子分析」『来住廃寺遺跡第15次調査—松山市文化財調査報告書第34集』松山市教育委員会 頁148-151  
山田喜和 1986「桃の栽培と管理」『朝日園芸百科23 果樹』朝日新聞社 頁236-237

付表1 桃出土遺跡一覧(貢納国)

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名(現在)	引用文献
1	山城	平安京左京八条三坊	平安(9世紀末~10世紀初頭)	京都市	文献19
1	山城	平安京東市外町	平安(9世紀前半)	京都市	文献20
1	山城	平安京右京二条三坊	平安(京都III期-b)	京都市	文献21
1	山城	平安京右京三条三坊	平安(京都II期)	京都市	文献23
1	山城	平安京右京六条一坊	平安(前期)	京都市	文献22
1	山城	平安京右京三条一坊三・六・七町	平安(9世紀初頭)	京都市	文献63
1	山城	平安京遺跡	平安(9世紀前葉)	京都市	文献106
1	山城	平安京右京三条一坊六・七町一西三条第(百花亭)跡一	平安(9世紀中頃から後半)	京都市	文献297
1	山城	平安京右京三条三坊三町跡	平安(10世紀初頭)	京都市	文献298
1	山城	平安京右京三条三坊三町	平安(京都II期中段階)	京都市	文献368
1	山城	史跡大覚寺御所跡	平安(9世紀)	京都市	文献24
1	山城	市田齊当坊遺跡	弥生	京都市	文献42
1	山城	同志社高校理科館改築に伴う埋蔵文化財	弥生(後期)	京都市	文献105
1	山城	長岡京跡左京	平安(延暦年間を含む)	向日市	文献36
1	山城	長岡京跡左京	奈良(長岡京期)	向日市	文献253
1	山城	鶏冠井遺跡	奈良(長岡京期)	向日市	文献220
2	大和	平城京右京六条二坊三町	奈良	奈良市	文献141
2	大和	平城宮	奈良	奈良市	文献94
2	大和	平城宮	奈良	奈良市	文献98
2	大和	平城宮	奈良	奈良市	文献111
2	大和	平城京左京四条四坊十三坪	奈良(後半)	奈良市	文献123
2	大和	平城京左京三条二坊六坪	奈良	奈良市	文献142
2	大和	平城京左京四条三坊九坪	平安(8世紀末~9世紀後半頃)	奈良市	文献179
2	大和	平城京右京四条一坊	奈良	奈良市	文献281
2	大和	平城宮東院庭園	奈良	奈良市	文献317
2	大和	平城京右京八条一坊	奈良(後半)	大和郡山市	文献318
2	大和	平城京左京二条二坊・三条二坊	奈良	奈良市	文献325
2	大和	平城京左京二条二坊・三条二坊	奈良	奈良市	文献326
2	大和	布留遺跡	古墳	天理市	文献14
2	大和	布留遺跡	古墳(前期)	天理市	文献15
2	大和	布留遺跡	弥生(第5層)・古墳(後半)・奈良	天理市	文献65
2	大和	布留遺跡	古墳~奈良	天理市	文献78
2	大和	布留遺跡	弥生・古墳	生駒郡安堵町	文献66
2	大和	和爾・森本遺跡	古墳(6世紀中頃)	天理市	文献87
2	大和	和爾・森本遺跡	古墳(前期・中期・後期)	天理市	文献100
2	大和	和爾・森本遺跡	弥生後期・古墳(前期・中期)・古墳(6世紀中頃)	天理市	文献102
2	大和	乙木・佐保庄遺跡	古墳(前期~中期)	天理市	文献174
2	大和	森本窪之庄遺跡	弥生(中期~後期)	天理市	文献240
2	大和	坪井遺跡	弥生(中期)	橿原市	文献16
2	大和	四条遺跡	飛鳥	橿原市	文献69
2	大和	四条遺跡	飛鳥	橿原市	文献82
2	大和	四条遺跡	古墳(中期)	橿原市	文献81
2	大和	四条遺跡	飛鳥(藤原京期)	橿原市	文献247
2	大和	四条遺跡	飛鳥(藤原京期)	橿原市	文献273
2	大和	曲川遺跡	弥生(中期)	橿原市	文献248
2	大和	上之宮遺跡	古墳~飛鳥(6世紀後半~7世紀)	桜井市	文献88
2	大和	纏向遺跡	古墳(4世紀初め以前)	桜井市	文献191
2	大和	纏向遺跡	古墳(前期)	桜井市	文献235
2	大和	芝遺跡	弥生(中期初頭)	桜井市	文献160
2	大和	脇本遺跡	弥生(庄内期)	桜井市	文献283
2	大和	発志院遺跡	古墳	大和郡山市	文献134
2	大和	南六条北ミノ遺跡	奈良	大和郡山市	文献284
2	大和	横田堂垣内遺跡	奈良	大和郡山市	文献315

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名 (現在)	引用文献
2	大和	鴨神遺跡	奈良～平安 (7世紀～8世紀)	御所市	文献 104
2	大和	鴨都波遺跡	弥生 (前期後葉～後期)	御所市	文献 89
2	大和	鴨都波遺跡	弥生	御所市	文献 90
2	大和	本郷大田下遺跡	縄文	宇陀市	文献 73
2	大和	唐古遺跡	弥生	磯城郡田原本町	文献 304
2	大和	唐古・鍵遺跡	弥生 (中期)	磯城郡田原本町	文献 305
2	大和	矢部遺跡	古墳 (前期初頭)	磯城郡田原本町	文献 101
2	大和	保津・宮古遺跡	古墳 (前期)	磯城郡田原本町	文献 85
2	大和	箸尾遺跡	古墳～飛鳥 (6世紀後半～7世紀後半)	北葛城郡広陵町	文献 67
2	大和	箸尾遺跡	弥生以降	北葛城郡広陵町	文献 68
2	大和	箸尾遺跡	古墳	北葛城郡広陵町	文献 70
2	大和	箸尾遺跡	古墳	北葛城郡広陵町	文献 71
2	大和	箸尾遺跡	古墳 (後期)～奈良	北葛城郡広陵町	文献 72
2	大和	箸尾遺跡	古墳 (後期)～奈良	北葛城郡広陵町	文献 83
2	大和	箸尾遺跡	古墳	北葛城郡広陵町	文献 84
2	大和	箸尾遺跡	古墳 (5世紀中頃)・奈良	北葛城郡広陵町	文献 86
2	大和	箸尾遺跡	奈良	北葛城郡広陵町	文献 92
2	大和	飛鳥京跡	飛鳥 (7世紀後半)	高市郡明日香村	文献 282
2	大和	飛鳥京跡	飛鳥	高市郡明日香村	文献 77
3	摂津	長原遺跡	古墳 (中期)	大阪市	文献 147
3	摂津	長原遺跡	古墳～奈良 (6世紀～8世紀)	大阪市	文献 159
3	摂津	細工谷遺跡	飛鳥 (7世紀末葉)～奈良	大阪市	文献 93
3	摂津	難波宮址	古墳 (後期)～飛鳥	大阪市	文献 112
3	摂津	難波宮址	古墳～飛鳥 (6世紀末～7世紀前半)	大阪市	文献 274
3	摂津	難波宮址	古墳 (中期)～飛鳥	大阪市	文献 289
3	摂津	恵美須遺跡	古墳 (前期)	大阪市	文献 290
3	摂津	亀井・城山遺跡	弥生 (中期～後期)	八尾市・大阪市	文献 157
3	摂津	玉櫛遺跡	古墳～古代	茨木市	文献 263
3	摂津	芥川遺跡	弥生 (後期)	高槻市	文献 312
3	摂津	玉津田中遺跡	飛鳥～平安 (初頭)	神戸市	文献 130
3	摂津	玉津田中遺跡	弥生 (前期)～古墳 (前期)	神戸市	文献 136
3	摂津	玉津田中遺跡	弥生 (後期)～古墳 (前期)	神戸市	文献 190
3	摂津	北青木遺跡	弥生 (後期)～古墳 (前期)	神戸市	文献 353
3	摂津	白水遺跡	古墳 (5世紀中頃)	神戸市	文献 354
3	摂津	松野遺跡	古墳	神戸市	文献 169
3	摂津	御蔵遺跡	飛鳥 (前半～中頃)	神戸市	文献 96
3	摂津	本庄町遺跡	弥生 (後期)～古墳 (前期)	神戸市	文献 39
3	摂津	雲井遺跡	弥生 (中期)	神戸市	文献 129
3	摂津	上ノ島遺跡	弥生 (前期)	尼崎市	文献 2
3	摂津	田能遺跡	弥生 (後期)	尼崎市	文献 99
3	摂津	川除・藤ノ木遺跡	弥生 (後期)	三田市	文献 324
4	伊賀	北堀池遺跡	弥生 (後期)	伊賀市	文献 132
4	伊賀	城之越遺跡	古墳 (中期)	伊賀市	文献 91
5	尾張	志賀公園遺跡	飛鳥 (7世紀以前)	名古屋市	文献 308
5	尾張	朝日遺跡	弥生～古墳	清須市	文献 114
5	尾張	朝日遺跡	弥生	清須市	文献 138
5	尾張	朝日遺跡	古墳 (前期) 以前	清須市	文献 180
5	尾張	朝日遺跡	弥生 (前期)	清須市	文献 307
5	尾張	一色青海遺跡	弥生	稲沢市・中島郡平和町	文献 26
5	尾張	一色青海遺跡	弥生 (中期後葉)	稲沢市・中島郡平和町	文献 184
6	参河	伊保遺跡	古墳	豊田市	文献 17
6	参河	伊保遺跡	古墳	豊田市	文献 344
6	参河	梅坪遺跡	弥生～古墳	豊田市	文献 211
6	参河	南山畑遺跡	弥生	豊田市	文献 227
6	参河	神明遺跡	古墳 (5世紀中葉～後葉)	豊田市	文献 168

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名(現在)	引用文献
6	参河	川原遺跡	弥生・古墳	豊田市	文献188
6	参河	水入遺跡	古墳	豊田市	文献176
6	参河	古井堤遺跡	弥生～古墳	安城市	文献61
6	参河	古井堤遺跡	弥生	安城市	文献131
6	参河	亀塚遺跡	古墳	安城市	文献62
6	参河	坂戸遺跡	弥生	岡崎市	文献18
6	参河	西浦遺跡	奈良(7世紀)	豊橋市	文献120
7	遠江	伊場遺跡	奈良	浜松市	文献74
7	遠江	伊場遺跡	奈良～平安	浜松市	文献221
7	遠江	梶子遺跡	奈良～平安(前期)	浜松市	文献291
7	遠江	玉越遺跡	弥生(後期)・古墳	磐田市	文献342
7	遠江	上ノ平遺跡	弥生	掛川市	文献264
7	遠江	南谷遺跡	弥生～古墳	御前崎市	文献239
8	駿河	登呂遺跡	弥生	静岡市	文献79
8	駿河	登呂遺跡	弥生	静岡市	文献309
8	駿河	登呂遺跡	弥生	静岡市	文献310
8	駿河	登呂遺跡	弥生(後期)	静岡市	文献311
8	駿河	登呂遺跡	弥生	静岡市	文献340
8	駿河	登呂遺跡	弥生	静岡市	文献366
8	駿河	神明原・元宮川遺跡	古墳	静岡市	文献333
8	駿河	雌鹿塚遺跡	弥生～古墳	沼津市	文献200
8	駿河	雌鹿塚遺跡	弥生～古墳	沼津市	文献334
8	駿河	池ヶ谷遺跡	平安(前期・西暦838以前)	静岡市	文献27
9	伊豆	山木遺跡	弥生	伊豆の国市	文献332
10	相模	草山遺跡	奈良～平安	秦野市	文献199
10	相模	砂田台遺跡	弥生(中期)～古墳(前期)	秦野市	文献4
10	相模	下大槻峯遺跡	古墳～平安	秦野市	文献162
10	相模	真田・北金目遺跡群	弥生～古墳	平塚市	文献224
10	相模	神明久保遺跡	古代	平塚市	文献166
10	相模	湘南新道関連遺跡	平安(8世紀～10世紀)	平塚市	文献269
10	相模	池子遺跡群	弥生～古墳(前期)	逗子市	文献339
10	相模	三ッ俣遺跡	古墳(後期)	小田原市	文献233
11	武蔵	御殿前遺跡	古墳(後期)～奈良	北区	文献198
11	武蔵	御殿前遺跡	古墳(6世紀後半)	北区	文献295
11	武蔵	袋地遺跡	縄文	北区	文献356
11	武蔵	中里峽上遺跡	平安(9世紀前半～中頃)	北区	文献270
11	武蔵	中里峽上遺跡	古墳～奈良	北区	文献302
11	武蔵	宮堀北遺跡	弥生～古墳(中期)	北区	文献275
11	武蔵	田端西台通遺跡	古墳(後期)	北区	文献293
11	武蔵	四葉地区遺跡	弥生	板橋区	文献314
11	武蔵	早瀬前遺跡	平安(9世紀～10世紀)	板橋区	文献320
11	武蔵	菅原神社台地上遺跡	弥生(後期)	板橋区	文献351
11	武蔵	志村城山遺跡	奈良～平安	板橋区	文献294
11	武蔵	徳九原大橋遺跡	弥生～古墳	板橋区	文献203
11	武蔵	高島平北遺跡	古墳	板橋区	文献212
11	武蔵	北新宿三丁目遺跡	弥生～古墳	新宿区	文献205
11	武蔵	下戸塚遺跡	弥生	新宿区	文献208
11	武蔵	北新宿二丁目遺跡	縄文	新宿区	文献241
11	武蔵	伊興遺跡	飛鳥(7世紀末)～奈良(8世紀初頭)	足立区	文献192
11	武蔵	伊興遺跡	奈良(末)～平安(初頭)	足立区	文献228
11	武蔵	柴又帝釈天遺跡	奈良(8世紀後半)	葛飾区	文献213
11	武蔵	古録天東遺跡	古墳	葛飾区	文献214
11	武蔵	東京外かく環状道路練馬地区遺跡	弥生(終末)～古墳(初頭)	練馬区	文献215
11	武蔵	土器塚遺跡	弥生(後期)～古墳(後期)	目黒区	文献258
11	武蔵	上野忍岡遺跡	飛鳥～奈良(7世紀後半～8世紀第2四半世紀)	台東区	文献336

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名（現在）	引用文献
11	武蔵	広町遺跡	弥生（後期）～古墳（後期）	中野区	文献 271
11	武蔵	落川遺跡	奈良（8世紀前半）	日野市	文献 31
11	武蔵	日野市 No.16 遺跡	古墳（前期）	日野市	文献 46
11	武蔵	山王上遺跡	平安（9世紀前半）	日野市	文献 117
11	武蔵	山王上遺跡	平安	日野市	文献 181
11	武蔵	山王上遺跡	平安（9世紀）	日野市	文献 292
11	武蔵	石川天野遺跡	古墳（後期）	八王子市	文献 196
11	武蔵	多摩ニュータウン No.107 遺跡	古墳	八王子市	文献 328
11	武蔵	中田遺跡	古墳（後期）	八王子市	文献 365
11	武蔵	中田遺跡	古墳（後期～末期）	八王子市	文献 316
11	武蔵	武蔵国府関連遺跡	奈良～平安	府中市	文献 12
11	武蔵	武蔵国府関連遺跡	古墳～平安（10世紀前葉）	府中市	文献 255
11	武蔵	武蔵国分寺南西地区	奈良～平安（8世紀～9世紀）	府中市	文献 229
11	武蔵	木曾森野遺跡	奈良～平安	町田市	文献 216
11	武蔵	多摩ニュータウン No.916 遺跡	古墳（初頭）	町田市	文献 348
11	武蔵	中高瀬遺跡	奈良（8世紀第3四半期）	あきる野市	文献 145
11	武蔵	小足立前原東遺跡	奈良（8世紀後半）	狛江市	文献 139
11	武蔵	下大和田遺跡	奈良～平安（8世紀中葉～10世紀）	立川市	文献 236
11	武蔵	落川・一の宮遺跡	古代	多摩市	文献 13
11	武蔵	下宅部遺跡	古墳（後期～末期）	東村山市	文献 115
11	武蔵	志木遺跡群	古墳（後期）	志木市	文献 185
11	武蔵	城山遺跡	古墳（後期）	志木市	文献 124
11	武蔵	城山遺跡	古墳～飛鳥（5世紀～7世紀）	志木市	文献 125
11	武蔵	志木市遺跡群	古墳（後期）	志木市	文献 119
11	武蔵	鍛冶谷・新田口遺跡	古墳	戸田市	文献 319
11	武蔵	城敷遺跡	古墳（中期～後期）	東松山市	文献 285
11	武蔵	反町遺跡	古墳（前期）	東松山市	文献 296
11	武蔵	前田字六反畑第一遺跡	平安（10世紀）	鳩ヶ谷市	文献 164
13	上総	常代遺跡群	弥生・奈良	君津市	文献 337
13	上総	郡遺跡群	古墳～平安（5世紀中葉～9世紀前葉）	君津市	文献 338
13	上総	西原遺跡	平安（9世紀以前）	袖ヶ浦市	文献 170
13	上総	上総金鈴塚古墳	古墳	木更津市	文献 148
13	上総	草刈遺跡	古墳（後期）	市原市	文献 256
13	上総	国府関遺跡	古墳（前期）	茂原市	文献 259
13	上総	岩川遺跡	弥生（中期）～古墳	長生郡長南町	文献 259
13	上総	芝崎遺跡	奈良～平安	山武郡横芝光町	文献 6
14	下総	神門遺跡	縄文	千葉市	文献 322
14	下総	有吉北貝塚	古墳（後期）	千葉市	文献 223
14	下総	国府台遺跡	古墳（前期）	市川市	文献 135
14	下総	北下遺跡	奈良～平安	市川市	文献 127
14	下総	木戸前遺跡	古墳（後期）	松戸市	文献 167
14	下総	小野遺跡	平安（8世紀末～9世紀初頭）	松戸市	文献 225
14	下総	津宮遺跡群	奈良（初期）	香取市	文献 249
14	下総	西根遺跡	縄文（後期）・古墳（後半）～奈良・平安	印西市	文献 159
14	下総	夏見台遺跡	古墳・奈良・奈良～平安	船橋市	文献 276
14	下総	西原遺跡	古墳（後期）	常総市	文献 195
15	常陸	武田遺跡群	平安（9世紀）	ひたちなか市	文献 277
15	常陸	武田遺跡群	古墳	ひたちなか市	文献 313
15	常陸	武田・西塙遺跡	奈良	ひたちなか市	文献 242
15	常陸	馬場遺跡	古墳（中期）	牛久市	文献 218
15	常陸	島名熊の山遺跡	古墳	つくば市	文献 3
15	常陸	実穀寺子遺跡	古墳（中期）	稲敷郡阿見町	文献 226
15	常陸	辰海道遺跡	古墳	桜川市	文献 250
16	近江	本願寺遺跡	古墳（後期）	米原市	文献 357
16	近江	入江内湖遺跡	縄文（前期）・古墳（後期）	米原市	文献 151
16	近江	入江内湖遺跡	縄文（前期）～古墳（後期）	米原市	文献 152
16	近江	入江内湖西野遺跡	古墳	米原市	文献 153

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名(現在)	引用文献
16	近江	石田遺跡	弥生(後期)	東近江市	文献175
16	近江	斗西遺跡	飛鳥~奈良	東近江市	文献7
16	近江	斗西遺跡	弥生~平安(3世紀末~8世紀)	東近江市	文献359
16	近江	正楽寺遺跡	縄文(後期)	東近江市	文献361
16	近江	十里町遺跡	古墳(初頭)	長浜市	文献329
16	近江	金剛寺遺跡	弥生~古墳	長浜市	文献109
16	近江	西河原宮ノ内・比留田法田遺跡	飛鳥(7世紀)	野洲市	文献182
16	近江	木部遺跡	弥生(後期)	野洲市	文献150
16	近江	宮町遺跡	奈良	甲賀市	文献80
16	近江	吉身西遺跡	古墳(初頭)	守山市	文献243
16	近江	中兵庫遺跡	飛鳥~平安(7世紀中頃~9世紀後半)	草津市	文献149
16	近江	鴨遺跡	奈良~平安	高島市	文献367
17	美濃	曾根八千町遺跡	古墳(後期)	大垣市	文献352
17	美濃	荒尾南遺跡	弥生	大垣市	文献163
17	美濃	荒尾南遺跡	弥生(後期)・古墳	大垣市	文献186
17	美濃	荒尾南遺跡	弥生(後期)	大垣市	文献128
17	美濃	今宿遺跡	弥生~古墳(前期)	大垣市	文献189
17	美濃	顔戸南遺跡	古墳	可児郡御嵩町	文献165
17	美濃	尾元遺跡	平安(9世紀後半~10世紀前半)	可児郡御嵩町	文献171
18	下野	砂田A遺跡	古墳(6世紀前)	宇都宮市	文献207
18	下野	下野国府跡寄居地区遺跡	平安	栃木市	文献137
18	下野	森後遺跡	奈良	さくら市	文献278
18	下野	田ノ保遺跡	古墳	渋川市	文献219
18	下野	富士前遺跡	古墳(後期)	下都賀郡壬生町	文献197
18	下野	多功南原遺跡	奈良~平安	河内郡上三川町	文献230
19	越前	四方谷岩伏遺跡	縄文	鯖江市	文献251
21	能登	小島西遺跡	古墳	七尾市	文献266
21	能登	国分B遺跡	古墳(終末)	七尾市	文献303
21	能登	三引遺跡	縄文(中期以降)	鹿島郡田鶴浜町	文献56
21	能登	二口かみあれた遺跡	古墳~奈良(3世紀~8世紀)	羽咋郡志雄町	文献327
21	能登	四柳白山下遺跡	奈良	羽咋市	文献323
22	越中	八町II遺跡	古墳	富山市	文献265
22	越中	今市遺跡	平安(前期)	富山市	文献154
22	越中	小竹貝塚	弥生~古墳	富山市	文献126
22	越中	下老子笹川遺跡	弥生	高岡市	文献155
22	越中	東木津遺跡	奈良~平安	高岡市	文献260
22	越中	石塚六方遺跡	平安(9世紀)	高岡市	文献272
22	越中	上久津呂中屋遺跡	奈良~平安(8世紀後半)	氷見市	文献300
22	越中	宇波西遺跡	弥生~古墳	氷見市	文献143
22	越中	石名田木舟遺跡	古代	小矢部市	文献244
22	越中	江上遺跡	弥生(中期)	中新川郡上市町	文献110
23	丹波	横田遺跡	弥生(終末期)~古墳(初頭)	丹波市	文献257
25	但馬	五反田遺跡	古墳	豊岡市	文献133
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(後期)~古墳(後半前期)	鳥取市	文献54
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(中期後葉)	鳥取市	文献75
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(後期~終末期)	鳥取市	文献76
26	因幡	青谷上寺地遺跡	古墳(前期)	鳥取市	文献64
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(中期中葉)・弥生(後期)~古墳(初頭)・古墳(前期~後期)	鳥取市	文献146
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(中期)~古墳(後期)	鳥取市	文献330
26	因幡	青谷上寺地遺跡	弥生(中期)~古墳(後期)	鳥取市	文献331
26	因幡	栗谷遺跡	古墳	鳥取市	文献358
26	因幡	本高下ノ谷遺跡	古墳(前期中葉)	鳥取市	文献95
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生(後期中葉後葉・終末期)	西伯郡大山町	文献144
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生	西伯郡大山町	文献267
27	伯耆	史跡大御堂廃寺跡	奈良~平安(7世紀後半~8世紀前半)	倉吉市	文献237
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生(後期中葉後葉・終末期)	米子市	文献172

国番号	国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名（現在）	引用文献
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生（後期中葉後葉）	米子市	文献 177
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生	西伯郡大山町	文献 268
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生（後期後葉・終末期）	西伯郡大山町	文献 287
27	伯耆	史跡妻木晩田遺跡	弥生（後期中葉後葉・終末期）	西伯郡大山町	文献 288
27	伯耆	文珠領遺跡	弥生（後期～終末期）	西伯郡大山町	文献 280
27	伯耆	古市遺跡群	縄文（晩期）	米子市	文献 34
27	伯耆	長瀬高浜遺跡	古墳	東伯郡湯梨浜町	文献 222
27	伯耆	飽津乳母ヶ谷第2遺跡	弥生	東伯郡琴浦町	文献 47
28	出雲	山津遺跡	古墳（中期）	松江市	文献 156
28	出雲	姫原西遺跡	弥生（中期後葉）～古墳（前期）	出雲市	文献 113
28	出雲	史跡出雲国府跡	奈良（8世紀後半）	松江市	文献 362
29	播磨	北条遺跡	縄文（晩期）～弥生（前期）	姫路市	文献 306
29	播磨	上三河遺跡	弥生（中期後半）	佐用郡佐用町	文献 48
29	播磨	亀田遺跡	弥生	揖保郡太子町	文献 194
31	備前	百間川沢田遺跡	弥生～古墳	岡山市	文献 208
31	備前	津島遺跡	古墳（AD220-350）	岡山市	文献 40
31	備前	津島遺跡	古墳（前期）	岡山市	文献 254
32	備中	上東遺跡	弥生後期（鬼川式 I-II）	倉敷市	文献 11
32	備中	菅生小学校裏山遺跡	古墳	倉敷市	文献 209
33	備後	大宮遺跡	古墳（初頭）	深安郡神辺町	文献 341
34	安芸	助平3号遺跡	古墳	東広島市	文献 107
35	周防	島田川遺跡	弥生（中期～終末）	周南市	文献 1
35	周防	岡山遺跡	弥生（中期）	周南市	文献 8
36	長門	柳瀬遺跡	奈良～平安（前期）	下関市	文献 9
36	長門	柳瀬遺跡	弥生（後期～終末）	下関市	文献 10
37	紀伊	太田・黒田遺跡	飛鳥	和歌山市	文献 32
37	紀伊	田屋遺跡	古墳	和歌山市	文献 201
37	紀伊	徳蔵地区遺跡	縄文（晩期）～弥生（前期）	日高郡みなべ町	文献 245
38	阿波	庄遺跡	平安（8世紀～9世紀）	徳島市	文献 5
39	讃岐	空港跡地遺跡	弥生（前期～中期）	高松市	文献 41
39	讃岐	原間遺跡	弥生～古代	東かがわ市	文献 37
39	讃岐	鴨部・川田遺跡	弥生（前期後葉）	さぬき市	文献 234
39	讃岐	旧練兵場遺跡	弥生（後期前半）	善通寺市	文献 52
40	伊予	古照遺跡	古墳（4世紀）	松山市	文献 343
40	伊予	来住庵寺遺跡	古墳（後期）	松山市	文献 335
40	伊予	釜ノ口遺跡	古墳（6世紀後半）	松山市	文献 33
40	伊予	桑原遺跡	弥生（中期後半）～古墳（中期）	松山市	文献 44
40	伊予	樽味四反地遺跡	古墳（6世紀後半）	松山市	文献 45
40	伊予	多々羅製塩遺跡	古墳（前期）	今治市	文献 30
41	土佐	西鴨地遺跡	平安（8世紀～10世紀）	土佐市	文献 238
41	土佐	居徳遺跡	弥生～奈良	土佐市	文献 173

註 (1) かつこ書きは、データを引用した報告書が世紀単位や土器の型式の場合、元のデータを示した

註 (2) 国番号は、「典葉寮」諸国進年料雑葉の記載順による

付表2 桃出土遺跡一覧（非貢納国）

旧国名	遺跡名	時代	遺跡所在地名 (現在)	引用文献
河内	禁野本町遺跡	平安（前期）	枚方市	文献 299
和泉	水込遺跡	奈良（8世紀）	岸和田市	文献 193
伊勢	村竹コノ遺跡	古墳（前期）	松坂市	文献 57
伊勢	田丸道遺跡	古墳（後期）	度会郡玉城町	文献 301
淡路	雨流遺跡	弥生（前期）	南あわじ市	文献 321
甲斐	銚子塚古墳	古墳	甲府市	文献 262
甲斐	美通遺跡	縄文（前期）・古墳（後期）	都留市	文献 286
信濃	芝宮中原遺跡	奈良（8世紀中葉～後半）	佐久市	文献 279
上野	吹屋三角遺跡	古墳（6世紀）	前橋市	文献 178
上野	荒砥北三木堂遺跡	古墳（5世紀～6世紀）	前橋市	文献 183
上野	元総社寺田遺跡	古墳	前橋市	文献 349
上野	三室合ノ谷遺跡	古墳	伊勢崎市	文献 202
上野	中高瀬観音山遺跡	弥生	富岡市	文献 347
上野	石墨遺跡	平安（10世紀前半）	沼田市	文献 55
上野	長野原一本松遺跡	平安（10世紀前半）	吾妻郡長野原町	文献 35
上野	白倉下原・天引遺跡	古墳（6世紀前半～後半）	甘楽郡甘楽町	文献 161
上野	天引狐崎遺跡	弥生（後期）～古墳（後期）	甘楽郡甘楽町	文献 350
上野	斉田中耕地遺跡	古墳（前期）	佐波郡玉村町	文献 58
上野	東峰須川雷電遺跡	平安（9世紀）	利根郡みなかみ町	文献 43
飛騨	深沼遺跡	飛鳥（7世紀末）	飛騨市	文献 346
陸奥	御所野遺跡	縄文（中期）	二戸郡一戸町	文献 204
陸奥	沼向遺跡	奈良（前半）	仙台市	文献 355
出羽	高揃南遺跡	古墳（前期）	天童市	文献 59
出羽	手取清水遺跡	縄文	横手市	文献 345
岩代	桜町遺跡	弥生（後期）	河沼郡湯川村	文献 51
岩代	正直 A 遺跡	古墳（6世紀初頭）	郡山市	文献 360
磐城	折返 A 遺跡	弥生（中期）	いわき市	文献 246
磐城	龍門寺遺跡	古墳（前期）	いわき市	文献 108
越後	六斗蒔遺跡	弥生～古墳（AD242-264・AD270-340）	胎内市	文献 252
越後	吉津川遺跡	古墳	三条市	文献 261
加賀	大友西遺跡	弥生（後期）	金沢市	文献 29
加賀	千代・能美遺跡	古墳	小松市	文献 53
石見	道休畑遺跡	弥生（後期）	浜田市	文献 363
石見	堂ノ上遺跡	弥生（後期）	益田市	文献 364
大宰府	尾崎遺跡	古墳	太宰府市	文献 210
筑前	下月隈 C 遺跡	弥生（後期）・奈良	河内郡上三川町	文献 187
筑後	久保遺跡	古墳（6世紀）	久留米市	文献 116
筑後	蒲船津江頭遺跡	弥生（後期）	八女郡広川町	文献 121
筑後	新代広ミ遺跡	古墳（後期）	八女郡広川町	文献 231
豊前	古立東遺跡	弥生（中期）	北九州市	文献 50
豊前	金山遺跡	弥生（終末）	柳川市	文献 217
豊後	安国寺遺跡	弥生（終末）～古墳（初期）	国東市	文献 26
豊後	中川原遺跡	古墳（初頭）	日田市	文献 118
肥前	久蘇遺跡	弥生	小城市	文献 60
肥前	牟田寄遺跡	弥生（後期）	佐賀市	文献 232
肥後	両迫間日渡遺跡	古墳	玉名市	文献 49
肥後	下堀切遺跡	弥生（後期）	八代市	文献 103
日向	向原中尾第2遺跡	弥生（AD 170-200）	日向市	文献 97
日向	平峰遺跡	古墳（中期）	都城市	文献 122
薩摩	南下遺跡	古代	南さつま市	文献 28
大隅	上野原遺跡	弥生（中期）	霧島市	文献 38
大隅	小瀬戸遺跡	奈良時（末）～平安	始良市	文献 140



付表 引用文献

註 文献の配列は、著者・発表年による。

- 文献 1 荒木精一 1953「島田川流域の遺物—植物遺体の考察」『島田川一周防島田川流域の遺跡調査研究報告』山口大学島田川遺跡学術調査団 頁 129-132
- 文献 2 勇正広・藤岡弘・橋爪康至 1973「遺物—種子類」『尼崎市上ノ島遺跡—資料集第 1 集—尼崎市文化財調査報告第 8 集』尼崎市教育委員会 頁 22, 図版 22
- 文献 3 稲田義弘 2004「調査の結果—まとめ」『鳥名熊の山遺跡（下巻）茨城県教育財団文化財調査報告第 214 集』財団法人茨城県教育財団 頁 534, 第 429 図
- 文献 4 井上洋一・吉川純子 1991「調査結果のまとめ—自然遺物について—炉址出土の炭化植物遺体について」『砂田台遺跡Ⅱ本文編—神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告書 20』神奈川県立埋蔵文化財センター 頁 524, 528, 図版 65
- 文献 5 茨木靖 2005「出土植物遺体について」『庄（庄・蔵本）遺跡—徳島大学蔵本地区体育館建設に伴う発掘調査報告書』徳島県教育委員会 頁 41-43
- 文献 6 上田圭一・高橋敦・金井慎司・馬場健司・松元美由紀 2006「芝崎遺跡の科学分析—芝崎遺跡の自然科学分析」『芝崎遺跡群—財団法人東総文化財センター発掘調査報告書第 33 集—国道 126 号山武東総道路建設に伴う埋蔵文化財調査—資料篇 1（芝崎遺跡 遺構・分析編）』財団法人東総文化財センター 頁 273-275
- 文献 7 植田文雄 1988「調査の結果—遺物—自然河道（SD01・SD02）の遺物—その他の遺物—植物遺体」『能登川町埋蔵文化財調査報告書第 10 集—斗西遺跡』能登川町教育委員会 頁 152-154
- 文献 8 宇都宮宏 1987「岡山遺跡出土の植物遺体」『岡山遺跡—島田川中流域遺跡群の調査—山口県埋蔵文化財調査報告第 99 集』山口県埋蔵文化財センター 頁 101-107, 図版 59-62
- 文献 9 宇都宮宏 1996「出土遺物の自然科学的分析—「柳瀬遺跡」出土の植物遺体」『柳瀬遺跡・奇兵隊陣屋跡—山陽自動車道建設工事に伴う発掘調査報告—山口県埋蔵文化財調査報告第 179 集』下関市教育委員会 頁 48-51, 図版 29-30
- 文献 10 宇都宮宏 1997「自然科学分野の調査成果」『柳瀬遺跡—山口県下関市大字吉田地方地内柳瀬遺跡発掘調査報告書—下関市埋蔵文化財調査報告書 60』下関市教育委員会 頁 82-83
- 文献 11 江見正己 1977「上東遺跡—各調査区の遺構・遺物の概要」『川入・上東—都市計画道路（富本町・三田線）に伴う埋蔵文化財発掘調査—岡山県埋蔵文化財発掘調査報告（16）』岡山県教育委員会 頁 80-81, 図版 47
- 文献 12 大澤進 1995「自然科学分析—日本製鋼所遺跡から出土した炭化種子類について」『武蔵国府関連遺跡調査報告—日鋼地区（第一分冊～第六分冊）本文編』日本製鋼所遺跡調査会 頁 350-353
- 文献 13 大澤進 1999「出土種子類の同定結果」『落川・一の宮遺跡Ⅳ—自然科学分析編』落川・一の宮遺跡（日野 3・2・7 号線）調査会—東京都教育庁—東京都建設局 頁 377, 387-390, 393
- 文献 14 太田三喜 1982「出土果実および種子同定Ⅰ奈良県天理市布留遺跡・三島（里中）地区」『考古学調査研究中間報告 4』天理大学附属天理参考館分室編 埋蔵文化財天理教調査団刊 頁 97, 99, 100-101
- 文献 15 太田三喜 1984「三島里中出土の果実および種子 奈良盆地の古環境と農耕をめぐって」『考古学調査研究中間報告 10』天理大学附属天理参考館分室編 埋蔵文化財天理教調査団刊 頁 103-106
- 文献 16 太田三喜 1988「坪井遺跡出土の大型植物遺体」『坪井遺跡（クレ橋）・十市城跡遺跡—橿原市埋蔵文化財調査概報 5』橿原市教育委員会 頁 19-20, 図版 7
- 文献 17 大原準之助 1974「伊保遺跡六反田地区において出土せる植物自然遺体」『伊保遺跡』猿投遺跡調査会 頁 148, 151（第 97 図）, 164-165
- 文献 18 大原準之助 1975「植物学的に見た坂戸遺跡出土の木器及び自然遺体について」『坂戸遺跡』岡崎市教育委員会 頁 45-46, 47（第 27 図）, 48
- 文献 19 岡田文男 1982「土製品・金属製品・石製品他—自然遺物」『平安京左京八条三坊—京都市埋蔵文化財研究所調査報告第 6 冊』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁 72, 74, 写真 63
- 文献 20 岡田文男 1986「付論—井戸埋土中の植物種実の調査」『平安京東市外町の調査—左京七条一坊十三町』平安学園考古学クラブ 頁 61, 68, 72, 77, 図版 28
- 文献 21 岡田文男 1987「平安京右京二条三坊—井戸 SE10 内堆積土に含まれる植物種実の分析」『平安京跡発掘調査概報—昭和 61 年度』京都市文化観光局—財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁 51-52
- 文献 22 岡田文男 1990「遺物—植物遺体」『平安京右京六条一坊—平安時代前期邸宅跡の調査—京都市埋蔵文化財

- 
- 研究所調査報告第11冊』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁75
- 文献23 岡田文男 1990「自然遺物」『平安京右京三条三坊—京都市埋蔵文化財研究所調査報告第10冊』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁80, 85-86, 89, 95
- 文献24 岡田文男 1997「植物遺体」『史跡大覚寺御所跡発掘調査報告—大沢池北岸域復原整備事業に伴う調査』舊嵯峨御所大覚寺 頁108, PL. 54
- 文献25 藍山誠一・渡辺泰 1998「一色青海遺跡出土の種子について」『一色青海遺跡—自然科学・考察編—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第79集』財団法人愛知県埋蔵文化財センター 頁87-89, 91, 94 (写真9-1)
- 文献26 笠原安夫・藤沢浅 1989「付章—安国寺遺跡の植物種子の検出と同定」『安国寺遺跡—国東町文化財調査報告書第4集』国東町教育委員会 頁183-184, 191-194
- 文献27 金井慎司・鶴岡明 1993「静岡県・池ヶ谷遺跡で検出された種実遺体について」『池ヶ谷遺跡Ⅱ(自然科学編)—昭和63年度～平成2年度静岡バイパス(池ヶ谷地区)埋蔵文化財発掘調査報告書—静岡県埋蔵文化財調査研究所調査報告書第46集』財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 頁10, 107, 110 (図版1)
- 文献28 株式会社加速器分析研究所 2011「理化学的分析—南下遺跡の木材・種実の種類」『南下遺跡—国道270号(宮崎バイパス)改築事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書157』鹿児島県立埋蔵文化財センター 頁75-76, 78, 図版2
- 文献29 株式会社環境公害研究センター 2003「自然科学分析—戸水遺跡群自然遺物の同定結果(種実・樹種・貝)」『大友西遺跡Ⅲ—金沢市文化財紀要196』財団法人石川県埋蔵文化財センター 頁72, 75, 89 (写真図版15)
- 文献30 株式会社古環境研究所 1994「自然科学分析—出土種実の同定多々羅遺跡出土種実Ⅱ」『多々羅製塩遺跡—多々羅大橋関連埋蔵文化財発掘調査報告書—埋蔵文化財発掘調査報告書第52集』愛媛県埋蔵文化財調査センター 頁167-168
- 文献31 株式会社古環境研究所 1995「種実の同定」『落川遺跡Ⅲ—自然科学編—都営落川第2アパート建設に伴う発掘調査報告』日野市落川遺跡調査会 頁47-48, 52 (Pl. V-1)
- 文献32 株式会社古環境研究所 1997「附編 自然科学分析—種実同定」『太田・黒田遺跡第67次発掘調査報告書—和歌山市都市整備公社発掘調査報告書第6集』財団法人和歌山市都市整備公社 頁61, 63-66, 図版15
- 文献33 株式会社古環境研究所 1997「自然科学分析—釜ノ口遺跡第8次調査における種実同定」『釜ノ口遺跡—6・7・8次調査—松山市文化財調査報告書第60集』財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター 頁161-164, 166-171, 172 (第105図)
- 文献34 株式会社古環境研究所 1999「自然化学分析—古市河原田遺跡における種実同定」『古市遺跡群Ⅰ—一般国道180号道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ—鳥取県教育文化財団調査報告書59』財団法人鳥取県教育文化財団鳥取県埋蔵文化財センター 頁177-178, 図版51
- 文献35 株式会社古環境研究所 2002「自然科学分析—種実同定」『長野原一本松遺跡(1)—ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第1集—財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第278集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁291-292
- 文献36 株式会社古環境研究所 2002「付論3—長岡京跡左京第435次調査地・「東院」における自然科学分析—花粉・植物珪酸体・珪藻・寄生虫卵分析, 種実同定による遺跡の環境復原」『向日市埋蔵文化財調査報告書—長岡京跡左京北一条三坊二町第55集』財団法人向日市埋蔵文化財センター 頁255-256, 257 (第113図), 262
- 文献37 株式会社古環境研究所 2002「原間遺跡における自然科学分析—原間遺跡における種実同定」『原間遺跡(第1分冊)—四国横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第三十九冊』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 頁461-462, 473, 477 (第455図)
- 文献38 株式会社古環境研究所 2002「付編1—科学分析—種実同定—1」『上野原遺跡—国分上野原テクノパーク第4工区造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1—鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書41』鹿児島県立埋蔵文化財センター 頁94-95
- 文献39 株式会社古環境研究所 2003「大型植物遺体(種実同定)」『本庄町遺跡第9次調査発掘調査報告書』神戸市教育委員会文化財課 頁50-51, 51 (fig. 52)
- 文献40 株式会社古環境研究所 2003「附編—自然科学的分野における分析・鑑定—津島遺跡出土の種実同定」『津島遺跡4—岡山県陸上競技場改修に伴う発掘調査(第2分冊)—岡山県埋蔵文化財発掘調査報告173』岡山県文化財保護協会 頁547-552
- 文献41 株式会社古環境研究所 2003「自然科学調査の成果—空港跡地遺跡(K地区)の樹種・種実同定」『空港跡地遺跡—インテリジェントパーク整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査』香川県教育委員会 頁131-133, 図
-

版 62

- 文献 42 株式会社古環境研究所 2004「付論 5 井戸 SEC453 有機物包含層における種実同定」『市田齊当坊遺跡—京都府遺跡調査報告書第 36 冊』財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター 頁 246 (図 1) -247
- 文献 43 株式会社古環境研究所 2005「自然科学的分析—種実同定」『東峰須川雷電遺跡—(主)中之条湯河原線の道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第 353 集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 47-50
- 文献 44 株式会社古環境研究所 2005「自然科学分析—桑原遺跡 4 次調査 4 区における種実同定」『東本遺跡 6 次調査地・桑原遺跡 2 次調査地・桑原遺跡 4 次調査地—松山市道中村桑原線関連遺跡—松山市文化財調査報告書第 105 集』財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター 頁 228-232, 233 (第 166 図)
- 文献 45 株式会社古環境研究所 2005「自然科学分析—樽味四反地遺跡 6 次調査における種実同定」『樽味四反地遺跡Ⅱ—6 次調査—古墳時代中期～中世編—松山市文化財調査報告書第 106 集』松山市教育委員会 頁 95-97, 98 (第 74 図), 99 (第 75 図)
- 文献 46 株式会社古環境研究所 2007「自然科学分析—種子同定」『日野市 No. 16 遺跡—一般国道 20 号日野バイパス (日野地区) 改装工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第 212 集』財団法人東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター 頁 246-247
- 文献 47 株式会社古環境研究所 2007「自然科学分析の成果—飽津乳母ヶ谷第 2 遺跡における炭化種実同定」『飽津乳母ヶ谷第 2 遺跡 1 一般国道 9 号 (東伯中山道路) の改装に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 X VI—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 12』鳥取県埋蔵文化財センター 頁 94-95 (写真 4)
- 文献 48 株式会社古環境研究所 2009「上三河遺跡における自然科学分析」『上三河遺跡—(主)若桜下三河線道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—兵庫県文化財調査報告第 354 冊』兵庫県教育委員会 頁 65-67, 巻頭図版 4
- 文献 49 株式会社古環境研究所 2009「自然科学分析—両迫間日渡遺跡—両迫間日渡遺跡における種実同定」『両迫間日渡遺跡—九州新幹線新玉名駅周辺整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—玉名市文化財調査報告第 19 集』玉名市教育委員会 頁 447, 449-452, 第 230 図
- 文献 50 株式会社古環境研究所 2010「付編—北九州市古立東遺跡における種実同定」『古立東遺跡 2 (2 区)—一般国道 495 号 (竹並バイパス) 道路改良工事に伴う埋蔵文化財調査報告 7—北九州市埋蔵文化財調査報告書第 427 集』財団法人北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室 頁 44, 47-48
- 文献 51 株式会社古環境研究所 2011「付章 2 福島県桜町遺跡における科学分析」『会津縦貫北道路遺跡発掘調査報告 10—福島県文化財調査報告書第 474 集』福島県教育委員会 頁 356, 364, 366-367
- 文献 52 株式会社古環境研究所 2011「自然科学的分析—堆積層の土壌分析及び河川出土樹木の樹種同定—香川県旧練兵場遺跡における土壌分析・樹種同定・種子同定」『旧練兵場遺跡Ⅱ—独立行政法人国立病院機構善通寺病院統合事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第 2 冊』香川県埋蔵文化財センター 頁 234 -235, 237, 245 (図 499)
- 文献 53 株式会社古環境研究所 2011「自然科学分析—千代・能美遺跡における種実同定」『小松市 千代・能美遺跡—一般国道 8 号 (小松バイパス) 改装工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』財団法人石川県埋蔵文化財センター 頁 347-357
- 文献 54 株式会社古環境研究所 2012「自然科学分析等の成果—第 11 次調査の自然科学分析等成果—種実同定」『青谷上寺地遺跡 12—第 11・12 次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告 46』鳥取県埋蔵文化財センター 頁 183-184, 193
- 文献 55 株式会社パレオ・ラボ 2002「自然科学分析—炭化種実の検討」『石墨遺跡 (沼田チェーンベース地点 I)—関越自動車道沼田チェーンベース (沼田 IC～月夜野 IC) 設置に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第 286 集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 187-192
- 文献 56 株式会社パレオ・ラボ 2004「動物遺体と環境—三引遺跡の環境と年代—大型植物化石」『田鶴浜町三引遺跡Ⅲ (下層編)—一般国道 470 号線 (能越自動車道) 改良工事および主要地方道水見田鶴浜線建設工事に係る緊急発掘調査報告書 (Ⅷ)』財団法人石川県埋蔵文化財センター 頁 400
- 文献 57 株式会社パレオ・ラボ 2009「村竹コノ遺跡における自然科学分析—大型植物化石」『村竹コノ遺跡—一般国道 42 号松阪多気バイパス建設地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅸ—三重県埋蔵文化財調査報告 123-9』三重県埋蔵文化財センター 頁 270-271
- 文献 58 株式会社パレオ・ラボ 2012「齊田中耕地遺跡から出土した大型植物遺体」『上新田中道東遺跡—財団法人

- 
- 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第528集—国道354号高崎玉村バイパス（玉村工区）社会資本総合整備（活力創出基盤整備）事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁386-388
- 文献59 株式会社吉田生物研究所 2004「付編—高嶺南遺跡出土植物遺体の同定調査」『高嶺南遺跡・菖蒲江1遺跡・菖蒲江2遺跡発掘調査報告書—山形県埋蔵文化財センター調査報告書第132集』財団法人山形県埋蔵文化財センター 付編 頁27-29
- 文献60 株式会社吉田生物研究所 2007「動植物遺体調査報告—小城市久蘇遺跡出土の植物遺体同定調査結果」『久蘇遺跡（6～19区）—佐賀西部導水路工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書—小城市文化財調査報告書第3集』小城市教育委員会 頁450, 463-464
- 文献61 川崎みどり 2002 動植物遺体『古井堤遺跡・二夕子遺跡—安城市埋蔵文化財調査報告書第9集』安城市教育委員会 頁34, 図版35
- 文献62 川崎みどり 2007「植物遺体・動物遺体」『亀塚遺跡Ⅱ—安城市埋蔵文化財調査報告書第18集』安城市教育委員会 頁81, 図版25
- 文献63 環境考古研究会 2002「自然遺物の環境考古学分析—種実同定」『平安京右京三条一坊三・六・七町跡—京都市埋蔵文化財研究所発掘調査概報2002-5』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁39-45, 図版21
- 文献64 君嶋俊行 2010「自然科学分析の成果—種実類遺体群の検討」『青谷上寺地遺跡11—第10次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告31』鳥取県埋蔵文化財センター 頁121-122, 124-126, 127（第100図）, 128（第101図）, 132
- 文献65 金原正明 1994「資料編」『奈良盆地の古環境と農耕』天理大学 頁97, 99, 100-101
- 文献66 金原正明 1995「出土種実の同定」『布留遺跡三島（里中）地区発掘調査報告書』埋蔵文化財天理教調査団 頁373-375
- 文献67 金原正明 1995「箸尾遺跡第12次・13次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第12次・13次調査の遺体分析」『奈良県遺跡調査概報1994年度（第一分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁21, 39-40, PL. 6
- 文献68 金原正明 1995「箸尾遺跡第16・17次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第16・17次調査における種実同定」『奈良県遺跡調査概報1995年度（第二分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁51-52, PL. 10
- 文献69 金原正明 1995「四条遺跡第20～22次発掘調査報告—古墳時代中期と藤原京条坊関連の遺跡—自然科学的分析—花粉・種実類」『奈良県遺跡調査概報1994年度（第二分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁38-40, PL. 10
- 文献70 金原正明 1996「箸尾遺跡第16・17次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第16・17次調査における種実同定」『奈良県遺跡調査概報1995年度（第二分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁51-52, PL. 10
- 文献71 金原正明 1998「箸尾遺跡第14・15次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第14次調査における植物遺体分析」『奈良県遺跡調査概報1997年度（第三分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁11, 18, PL. 3
- 文献72 金原正明 1998「箸尾遺跡第15次調査S区における植物遺体分析」『奈良県遺跡調査概報1997年度（第三分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁22-23
- 文献73 金原正明 2000「自然科学的調査—本郷大田下遺跡の環境考古学分析および堅果類と植生・環境の検討」『本郷大田下遺跡—縄文時代貯蔵穴群の調査—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第83冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁84, 104
- 文献74 金原正明 2007「貝塚出土の自然遺物—伊場遺跡律令期大溝内貝塚（貝層）の植物遺体同定分析」『伊場遺跡補遺編（いばいせきほいへん）（第8～13次調査遺構・自然遺物）—伊場遺跡発掘調査報告書第11冊』浜松市教育委員会 頁43-44, 48-49, 52-53, 55-57, 60-61, 63-72, 78
- 文献75 金原正明 2008「自然科学分析等の成果—青谷上寺地遺跡の環境考古学分析および古環境復原と変遷」『青谷上寺地遺跡9—第8次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告21』鳥取県埋蔵文化財センター 頁145-146
- 文献76 金原正明 2009「平成19年度第9次調査にかかる自然化学分析等の結果—種実同定」『青谷上寺地遺跡10—第9次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告27』鳥取県埋蔵文化財センター 頁13, 17, 29, 49, 169-174, 図版53-60
- 文献77 金原正明 2011「自然科学分析—種実同定, 花粉分析, 珪藻分析からみた植栽と環境」『史跡・名勝 飛鳥京跡苑池（1）—飛鳥京跡V—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第111冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁151, 159-160, 180（写真12）
-

- 文献 78 金原正明ら（天理大学附属天理参考館）1982「出土種実の同定 I 布留遺跡三島（里中）地区」『考古学調査研究中間報告書 4』埋蔵文化財天理教調査団 頁 11, 16, 19-26, 28-47, 図版 1-2, 図版 7-8
- 文献 79 金原正明・株式会社古環境研究所 2006「登呂遺跡における自然科学分析—種実同定」『特別史跡登呂遺跡—再発掘調査報告書（自然科学分析・総括編）—静岡市埋蔵文化財発掘調査報告』静岡市教育委員会 頁 51, 64, 72
- 文献 80 金原正明・金原正子 1994「補論 II 宮町遺跡第 13 次調査における微遺体および大型植物遺体の検討」『紫香楽宮関連遺跡発掘調査報告—平成 5 年度遺跡発掘事前総合調査事業にかかると—信楽町文化財報告第 8 集』信楽町教育委員会 頁 52-53, 55-56, 図版 61
- 文献 81 金原正明・金原正子 1995「四条遺跡第 20～22 次発掘調査報告—古墳時代中期と藤原京条坊関連の遺跡—自然科学的分析—花粉・種実類」『奈良県遺跡調査概報 1994 年度（第三分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁 11, 18, PL. 3
- 文献 82 金原正明・金原正子 1995「四条遺跡第 20～22 次発掘調査報告—古墳時代中期と藤原京条坊関連の遺跡—自然科学的分析—花粉・種実類」『奈良県遺跡調査概報 1994 年度（第二分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁 38-40, PL. 10
- 文献 83 金原正明・金原正子 1995「箸尾遺跡第 12 次・13 次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第 12 次・13 次調査の遺体分析」『奈良県遺跡調査概報 1994 年度（第一分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁 21, 39-40, PL. 6
- 文献 84 金原正明・金原正子 1998「箸尾遺跡第 14・15 次発掘調査概報（分析編）—箸尾遺跡第 14 次調査における植物遺体分析」『奈良県遺跡調査概報 1997 年度（第三分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁 11, 18, PL. 3
- 文献 85 金原正明・金原正子 2003「自然科学分析—保津・宮古遺跡第 3 次調査における花粉分析・種実同定」『保津・宮古遺跡 第 3 次発掘調査報告—奈良県文化財調査報告書第 100 集』奈良県立橿原考古学研究所 頁 83, 85（写真 22）
- 文献 86 金原正明・金原正子 2006「自然科学分析—箸尾遺跡における環境考古学分析—第 14・15 次調査の環境考古学分析—第 15 次調査 S 区の植物遺体」『箸尾遺跡 I—耕作遺構編—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第 97 冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁 338-340, 341（写真 2）
- 文献 87 金原正明・金原正子・粉川昭平 1990「天理市和爾・森本遺跡第 5 次発掘調査報告」『奈良県遺跡調査報告概報 1989 年度』奈良県立橿原考古学研究所 頁 141-146
- 文献 88 金原正明・粉川昭平 1989「上之宮遺跡第 5 次調査出土植物性遺物の検討」『奈良県桜井市阿部丘陵遺跡群桜井市南部特定土地区画整備事業にかかわる埋蔵文化財発掘調査報告書』桜井市教育委員会 頁 123, 125-127, 図版 14
- 文献 89 金原正明・粉川昭平 1992「種実遺体」『奈良県御所市鴨都波 11 次概報—御所市文化財調査報告書第 11 集』御所市教育委員会 頁 70, 70（図 52）
- 文献 90 金原正明・粉川昭平 1992「種実遺体」『奈良県御所市鴨都波 12 次概報—御所市文化財調査報告書第 12 集』御所市教育委員会 頁 88-89
- 文献 91 金原正明・粉川昭平・金原正子 1992「木製遺物の樹種および植生復元」『城之越遺跡—三重県埋蔵文化財調査報告 99-3』奈良県立橿原考古学研究所 頁 140-141, 148, 168
- 文献 92 金原正明・粉川昭平・中村亮仁 1991「箸尾遺跡第 7 次調査の出土種子」『奈良県遺跡調査概報 1990 年度（第二分冊）』奈良県立橿原考古学研究所 頁 40, 43（写真 6）, 44, 図版 27
- 文献 93 金原正子 1999「分析と検討—細工谷遺跡の古環境復元」『細工谷遺跡発掘調査報告 I—都市計画道路難波片江線建設工事に伴う発掘調査報告書』財団法人大阪市文化財協会 頁 127-128, 131, 図版 60
- 文献 94 国武貞克 2011「植物遺体」『平城宮発掘調査報告 XVII—第一次大極殿院地区の調査 2—奈良県文化財研究所学報第 84 冊』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 頁 226
- 文献 95 黒沼保子・佐々木由香・バンダリ・スダルシャン・濱田竜彦・AMS 年代測定グループ 2013「大型植物遺体の同定」『本高下ノ谷遺跡』鳥取県教育委員会 頁 68-71, 73（第 VI-2-1 図）, 82-83, 82（第 VI-4-1 図）
- 文献 96 古環境研究所 2003「御蔵遺跡における種実同定」『御蔵遺跡 V 第 26・37・45・51 次調査—国道 28 号線道路改築工事（長田工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』神戸市教育委員会文化財課 頁 116, 118-120, 122（fig. 140）-123（fig. 141）
- 文献 97 古環境研究所 2014「向原中尾第 2 遺跡（第 3 次調査）—自然科学分析の結果」『向原中尾第 2 遺跡（第 3 次調査）・向原中尾第 5 遺跡・向原中尾第 6 遺跡—東九州自動車道（日向～都農間）建設に伴う埋蔵文化財

- 
- 発掘調査報告書11—宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第229集』宮崎県埋蔵文化財センター 頁19-22, 第20図
- 文献98 粉川昭平 1979「平城宮跡の調査—自然環境調査—植生—植物遺体—平城宮跡第99次発掘調査(東院地区東南隅園地)種子分析」『平城宮整備調査報告I—奈良国立文化財研究所学報第36冊』奈良国立文化財研究所 頁92-93, PL. 8
- 文献99 粉川昭平 1982「田能遺跡出土の植物遺体」『田能遺跡発掘調査報告書』尼崎市教育委員会 頁581-583, 584(第162図)
- 文献100 粉川昭平 1983「自然科学編—和爾・森本遺跡出土の子実類」『和爾・森本遺跡—奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第45冊』奈良県教育委員会—奈良県立橿原考古学研究所 頁223-224, 225(写真18)
- 文献101 粉川昭平 1986「矢部遺跡細論—矢部遺跡出土の植物遺体について」『矢部遺跡—国道24号線橿原バイパス建設に伴う遺跡調査報告(Ⅱ)—奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第49冊』奈良県教育委員会—奈良県立橿原考古学研究所 頁271-272, 写真10
- 文献102 粉川昭平 1989「自然科学的分析と考察—和爾・森本遺跡出土の大型植物遺体について」『和爾・森本遺跡Ⅱ—奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第58冊』奈良県教育委員会—奈良県立橿原考古学研究所 頁179-182
- 文献103 粉川昭平 1989「分析—下堀切遺跡の大型種子」『下堀切遺跡Ⅱ—八代市文化財調査報告書第4集』頁56-58
- 文献104 粉川昭平 1990「種子」『奈良県御所市鴨神遺跡発掘調査報告—御所市文化財調査報告書第8集』御所市教育委員会 頁19, 図版10
- 文献105 粉川昭平 1991「種実」『同志社高等学校理科館改築に伴う埋蔵文化財の調査』同志社高等学校 頁28, 29(fig. 32)
- 文献106 粉川昭平 1993「付編2 植物遺体の同定」『花園大学構内調査報告Ⅳ』花園大学 頁105-106
- 文献107 粉川昭平 1993「自然科学分野研究編—助平3号遺跡の植物種子類について」『西条第一土地区画整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(Ⅱ)(広島埋蔵文化財調査センター報告書第114集)』財団法人広島埋蔵文化財調査センター 頁190-191
- 文献108 粉川昭平 1995「遺物—植物遺体, 附篇—植物遺体」『龍門寺遺跡—いわき市埋蔵文化財調査報告第11冊』いわき市教育委員会 頁488-491
- 文献109 粉川昭平 1996「自然科学—金剛寺遺跡の大型植物遺体」『金剛寺遺跡—加田地区農業集落排水施設関連—長浜市埋蔵文化財調査資料第13集』長浜市教育委員会 頁41-42, 46
- 文献110 粉川昭平・吉井亮一 1984「自然遺物—江上遺跡群出土の種実遺体」『北陸自動車道遺跡調査報告—上市町木製品(本文)・総括編—』上市町教育委員会 頁79-84, 図版2
- 文献111 小清水卓二・三木茂・小原二郎・竹岡政治 1971「出土の種子及び果実類」『平城宮第71, 72, 73次発掘調査概報—附「平城宮跡出土植物遺体」』奈良時代国立文化財研究所 頁17
- 文献112 古代の森研究舎 2000「出土資料の分析と検討—前期難波宮水利施設に係わる古環境分析—大型植物化石」『難波宮址の研究第十一—前期難波宮内裏西方官衙地域の調査』財団法人大阪市文化財協会 頁228-229, 231, 図版106
- 文献113 比松昌彦 1999「貝塚出土遺物の分析—姫原西遺跡貝塚出土の種子について」『姫原西遺跡—一般国道9号出雲バイパス建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告2』高根県教育庁文化財課埋蔵文化財調査センター 頁168-171, 175, 181
- 文献114 比松昌彦・粉川昭平 1992「朝日遺跡の大型植物遺体」『朝日遺跡(自然科学編)—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第31集』財団法人愛知県埋蔵文化財センター 頁153-154, 156, 図版7-1
- 文献115 佐々木由香 2006「出土遺物の同定および自然科学的分析—下宅部遺跡出土の木質遺物と植物・菌類遺体に関する分析と考察—種実同定」『下宅部遺跡Ⅱ』宅部遺跡調査団—東村山市遺跡調査会 頁311-312, 314(写真36), 318-322
- 文献116 佐々木由香 2006「自然科学分析—久保遺跡から出土した大型植物遺体」『久保遺跡—久留米市文化財調査報告書第225集』久留米市役所文化観光部文化財保護課 頁115-116, 図版58
- 文献117 佐々木由香・バンダリ・スタルシャン 2010「自然科学分析—山王上遺跡竪穴住居跡出土の炭化種実同定」『日野市山王上遺跡—多摩平団地建替事業(第2期その2)に伴うK区J区の埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第240集』財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター
-

- 頁 394-395, 396 (第 238 図)
- 文献 118 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2010「自然科学分析—中川原遺跡 2 次調査出土の炭化種実」『中川原遺跡—2 次調査の概要—日田市埋蔵文化財調査報告書 93』頁 115-121, 132-135
- 文献 119 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2011「付編 自然科学分析—城山遺跡から出土した炭化種実」『志木市遺跡群 19—志木市の文化財第 45 集』埼玉県志木市教育委員会 頁 65-66 図版 16
- 文献 120 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2011「西浦遺跡出土の大型植物遺体」『西浦遺跡—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第 165 集』財団法人愛知県教育サービスセンター—愛知県埋蔵文化財センター 頁 155, 158
- 文献 121 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2011「科学分析—大型植物遺体の同定」『蒲船津江頭遺跡Ⅲ—福岡県柳川市三橋町蒲船津所在の遺跡の調査—有明海沿岸道路大川バイパス関係埋蔵文化財調査報告書第 10 集』福岡県教育委員会 頁 108-110, 図版 1
- 文献 122 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2012「自然科学分析—平峰遺跡 3 次調査出土の炭化種実」『平峰遺跡 (3 次調査)—一般国道 10 号都城道路建設に伴う発掘調査報告書 4—宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第 219 集』宮崎県埋蔵文化財センター 84-86, 図 73
- 文献 123 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2012「自然科学分析—平城京左京四條四坊十三坪の自然科学分析」『平城京左京四・五條四坊—五條五坊—JR 奈良駅連続立体交差・街路整備事業に係る発掘調査報告書 (Ⅳ)—奈良県文化財調査報告書第 153 集』奈良県立橿原考古学研究所 頁 23, 123-124, 124 (図 134)
- 文献 124 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2012「付編自然科学分析—城山遺跡第 62 地点から出土した炭化種実」『城山遺跡第 62 地点埋蔵文化財発掘調査報告書—志木市の文化財第 48 集』埼玉県志木市教育委員会 頁 181-185, 図版 47
- 文献 125 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2013「付編自然科学分析—城山遺跡第 64 地点から出土した炭化種実」『城山遺跡第 64 地点埋蔵文化財発掘調査報告書—志木市の文化財第 53 集』埼玉県志木市教育委員会 頁 73-75, 図版 21
- 文献 126 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2013「自然科学分析—大型植物遺体同定」『富山市小竹貝塚発掘調査報告書—北陸新幹線水道路付替工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—富山市埋蔵文化財調査報告 59』富山市教育委員会埋蔵文化財センター 頁 36-41 (第 20 図)
- 文献 127 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2014「付章—植物遺体分析—北下遺跡から出土した大型植物遺体」『東京外かく環状道路埋蔵文化財調査報告書—市川市北下遺跡 (9)~(12) 6 卷—千葉県教育振興財団調査報告第 730 集』公益財団法人千葉県教育振興財団文化財センター 頁 257—262
- 文献 128 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン 2014「自然科学的分析—大型植物遺体の同定」『荒尾南遺跡 C 地区—岐阜県文化財保護センター調査報告書第 129 集』岐阜県文化財保護センター 頁 50-52, 53 (写真 16), 54
- 文献 129 佐々木由香・バンダリ・スダルシヤン・藤根久 2010「雲井遺跡第 28 次調査出土の炭化種実」『雲井遺跡第 28 次発掘調査報告書』神戸市教育委員会文化財課 頁 154-156, 156 (図 119)
- 文献 130 笹倉正典 2005「玉津田中遺跡出土種子の分析」『下小名田遺跡—都市計画道路北神中央線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書』妙見山麓遺跡調査会 頁 20, 27, 27 (第 15 図)
- 文献 131 汐見真・岡田文男 2008「付載 1. 安城市古井堤遺跡出土木製品の樹種調査結果」『鹿乘川流域遺跡群 V—安城市埋蔵文化財調査報告書第 21 集』安城市教育委員会 頁 336, 336 (写真 163)
- 文献 132 塩谷格・武田明正 1992「付篇 2—北堀池遺跡の出土植物—植生の変化と栽培植物」『北堀池遺跡発掘調査報告第二分冊—三重県埋蔵文化財調査報告 51—2』三重県教育委員会 頁 20, 28-29
- 文献 133 篠宮正 2002「五反田遺跡の大型植物種実」『五反田遺跡—県立コウノトリの郷公園整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—兵庫県文化財調査報告書第 227 冊』兵庫県教育委員会 頁 34-35, 写真図版 77
- 文献 134 鳥倉己三郎 1980「自然科学的調査—発志院遺跡出土の種子類」『大和山市—発志院遺跡—奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第 41 冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁 285, 286 (写真 34), 287
- 文献 135 鈴木伸哉「自然科学分析—市川市国府台遺跡第 29 地点より出土した大型植物遺体」『千葉県市川市真間国府台遺跡—第 29 地点発掘調査報告書』国府台遺跡第 29 地点調査会 頁 373, 376
- 文献 136 多賀茂治 1997「玉津田中遺跡出土種子の分析」『神戸市西区玉津田中遺跡第 6 分冊—田中特定土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財調査報告書—兵庫県文化財調査報告第 135-6 冊』兵庫県教育委員会 頁 97, 100, 102-105, 115-118, 120-124
- 文献 137 高岡正之 1985「下野国府後寄居地区遺跡出土の自然遺物について」『下野国府跡寄居地区遺跡—県道小山・

- 都賀線建設に伴う発掘調査—栃木県埋蔵文化財調査報告第78集』栃木県教育委員会—(財)栃木県文化振興事業団 頁95, 99
- 文献138 高木典雄 1992「論考・分析篇—朝日遺跡における出土植物」『朝日遺跡Ⅰ』愛知県教育委員会 頁240-241, 245-246
- 文献139 高瀬克範 2009「自然科学分析—東京都狛江市小足立前原東遺跡におけるウォーター・フローテーションの成果」『東京都狛江市小足立前原東遺跡—第1次発掘調査報告書』共和開発株式—狛江市教育委員会 頁34, 第29図(36)
- 文献140 田川日出夫 1982「小瀬戸遺跡井戸Ⅰ内出土種子の同定について」『小瀬戸遺跡 建馬場遺跡 松木田遺跡—九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告Ⅹ—鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書(19)』鹿児島県教育委員会 頁70
- 文献141 竜子正彦 2007「遺物—その他の遺物」『平安京右京六条二町跡—京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2006-25』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁32-33
- 文献142 田中哲雄・粉川昭平 1986「遺物—植物遺体」『平城京左京三条二坊六坪発掘調査報告書—奈良国立文化財研究所学報第44冊』奈良国立文化財研究所 頁84-85, PL. 31
- 文献143 田中義文・馬場健司・松元美由紀 2014「自然科学分析—宇波西遺跡の自然科学分析」『稲積天坂遺跡・稲積天坂北遺跡・稲積オオヤチ南遺跡・宇波西遺跡発掘調査報告—能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告ⅩⅣ—富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第64集』公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 頁279-280, 287(写真7)
- 文献144 玉木秀幸 2011「自然科学分析の成果—まとめ」『史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書—第20・21・23次調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅳ集』鳥取県教育委員会 頁272-273
- 文献145 地球科学研究所 2007「あきる野市中高瀬遺跡の自然科学分析(花粉・珪藻・種実)」『あきる野市中高瀬遺跡—秋多3・3・9号線整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第201集』財団法人東京都生涯学習文化財団東京都埋蔵文化財センター 頁391, 393, 394(第283図)
- 文献146 辻圭子・辻誠一郎・野中理加 2011「動植物遺体群からみた水域・陸域の変遷—種実遺体群からみた植物資源利用と陸域環境」『青谷上寺地遺跡景観復原調査研究報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告40』鳥取県埋蔵文化財センター 頁131-141, 144(第61図), 145, 149, 150(第62図), 151-154, 155(第64図), 156(第65図), 157(第66図), 159
- 文献147 辻本裕也・松元美由紀 2008「NG03-5・06-3・4次調査地出土の種実同定」『長原遺跡発掘調査報告ⅩⅦ—平成15・18年度大阪市営長吉出戸南住宅建設工事にかかる発掘調査報告書』財団法人大阪市文化財協会 頁137-139, 141, 143, 写真5(144)
- 文献148 直良信夫 1951「自然遺物」『上総金鈴塚古墳』千葉県教育委員会 頁109, 112
- 文献149 中川治美 2001「平成7・8年度調査の自然科学分析—大型植物遺体」『中兵庫遺跡—一般県道単独改良山田・草津線工事に伴う埋蔵文化財調査報告書』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課—財団法人滋賀県文化財保護協会 頁211, 216, 218-219
- 文献150 中川治美 2002「出土植物遺体の分析」『木部遺跡—野洲郡中主町西河原—県道荒見上野近江八幡線改良工事に伴う中主町内遺跡』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課—財団法人滋賀県文化財保護協会 頁76-79, 図版四一
- 文献151 中川治美 2007「付編8—植物遺存体の同定」『入江内湖遺跡Ⅰ—一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書1』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課—財団法人滋賀県文化財保護協会 頁326-327
- 文献152 中川治美 2008「植物遺存体の調査」『入江内湖遺跡Ⅱ—一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書2』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課—財団法人滋賀県文化財保護協会 頁142-147
- 文献153 中川治美・南木陸彦 2002「自然科学分析の結果—入江内湖西野遺跡出土の大型植物遺体」『入江内湖西野遺跡—県道彦根米原線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書』財団法人滋賀県文化財保護協会 頁112-116, 図版60
- 文献154 中村賢太郎・バンダリ・スダルシャン・藤根久 2013「自然科学分析—竪穴建物出土遺物の分析—竪穴建物から出土した炭化種実について」『富山市今市遺跡発掘調査報告書—八幡小学校体育館改築工事に伴う発掘調査報告—富山市埋蔵文化財調査報告54』富山市教育委員会埋蔵文化財センター 頁74-75, 75(図版1)
- 文献155 中村亮仁 2006「建物出土種実遺体」『下老子笹川遺跡発掘調査報告—能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告Ⅴ(第五分冊自然科学分析・考察編)—富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第31集』



- 財団法人富山県文化振興財団 頁 365-367, 376
- 文献 156 中村亮仁 2006「地形と環境—山津遺跡出土の種実遺体」『大井窯跡群 山津窯跡・山津遺跡発掘調査報告書—一般県道本庄福富松江線(大海崎工区)新世紀道路ネットワーク整備事業(改良)に伴う発掘調査報告書』財団法人松江市教育文化振興事業団松江市教育委員会 頁 373-374, 374 (挿図写真 3)
- 文献 157 那須孝悌 1980「自然遺物—植物遺体」『亀井・城山—寝屋川南部流域下水道事業長吉ポンプ場築造工事関連埋蔵文化財発掘調査報告書』財団法人大阪文化財センター 頁 414-415, 418, 421 (第 348 図), 452-453
- 文献 158 那須孝悌・岡本素治・布谷知夫 1978「長原遺跡の自然史的背景—長原遺跡周辺の古植生」『長原遺跡発掘調査報告』財団法人大阪市文化財協会 頁 209
- 文献 159 那須浩郎 2005「自然科学的分析—西根遺跡の大型植物遺体」『印西市西根遺跡—県道船橋印西線埋蔵文化財調査報告書—千葉県文化財センター調査報告第 500 集』財団法人千葉県文化財センター 頁 336-338, 341 (第 238 図)
- 文献 160 奈良県立橿原考古学研究所 2005「種子」『芝遺跡—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第 91 冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁 80
- 文献 161 新山雅広 1997「遺構出土種実の分析」『白倉下原・天引向原遺跡Ⅳ—関越自動車道(上越線)地域埋蔵文化財発掘調査報告書第 46 集—(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第 221 集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 128-130, 132, 写真図版編 PL, 207
- 文献 162 新山雅広 1998「付編Ⅳ 下大槻峯遺跡から出土した大型植物化石」『下大槻峯遺跡(No. 30)—第一東海自動車道厚木・大井松田間改築事業に伴う調査報告 9—Ⅱ—かながわ考古学財団調査報告 35』財団法人かながわ考古学財団 頁 368-369
- 文献 163 新山雅広 1998「自然科学的手法による報告・検討—荒尾南遺跡から出土した大型植物化石」『荒尾南遺跡—大垣環状線建設に伴う緊急発掘調査報告書—岐阜県文化財保護センター調査報告書第 26 集』財団法人岐阜県文化財保護センター 頁 92-93, 図版 19
- 文献 164 新山雅広 1999「自然科学分析—第 1 号井戸跡から出土した大型植物化石」『「仮称」島忠家具ホームセンター川口朝日店建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告—鳩ヶ谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第 9 集』埼玉県鳩ヶ谷市教育委員会 頁 64-66 図版 21
- 文献 165 新山雅広 2000「自然科学分析—大型植物化石」『顔戸南遺跡—東海環状自動車道(八百津～笠原)建設事業に伴う緊急発掘調査報告書—岐阜県文化財保護センター調査報告書第 58 集第二分冊』財団法人岐阜県文化財保護センター 頁 277-278, 282 (図 172)
- 文献 166 新山雅広 2001「付編Ⅱ—自然遺物・科学分析—神明久保遺跡出土の大型植物化石について」『神明久保遺跡—県営平塚神明団地(仮称)建設に伴う発掘調査—かながわ考古学財団調査報告第 102 冊』財団法人かながわ考古学財団 頁 294
- 文献 167 新山雅広 2001「自然科学的分析—木戸前遺跡から出土した炭化種実」『木戸前遺跡』松戸市木戸前遺跡調査会 頁 20
- 文献 168 新山雅広 2001「神明遺跡・三味線塚古墳粘土礫から出土した大型植物化石について」『神明遺跡Ⅱ—豊橋市埋蔵文化財調査報告書第 17 集』豊橋市教育委員会 頁 451-452, 453 (図版 1)
- 文献 169 新山雅広 2001「松野遺跡第 5-1 次調査の大型植物化石」『第 3～7 調査—新長田駅南第 2 地区震災復興第二種市街地再開発事業に伴う松野遺跡発掘調査報告書』神戸市教育委員会 頁 193-194, 195 (挿図写真 32)
- 文献 170 新山雅広 2003「まとめ—大型植物化石」『財団法人君津郡市文化財センター発掘調査報告書第 178 集西原遺跡Ⅲ—田園空間整備事業袖ヶ浦地区埋蔵文化財調査に伴う発掘調査報告書』木更津土地改良事務所 頁 67-68, 70, 図版 18
- 文献 171 新山雅広 2003「自然科学分析—大型植物化石」『尾元遺跡—岐阜県教育文化財団文化財保護センター調査報告書第 82 集』財団法人岐阜県教育文化財団文化財保護センター 頁 209-211, 図版 44
- 文献 172 新山雅広 2003「洞ノ原地区西側丘陵における自然科学的分析と検討—妻木晩田遺跡洞ノ原地区西側丘陵から出土した炭化種実」『史跡妻木晩田遺跡第 4 次発掘調査報告書—洞ノ原地区西側丘陵の発掘調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第 1 集』鳥取県教育委員会 頁 193-194, 198-200 (第 1 図)
- 文献 173 新山雅広 2003「付編 1 居徳遺跡から出土した大型植物化石」『居徳遺跡Ⅳ—四国横断自動車道(伊野～須崎間)建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第 78 集』財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター 頁 303-304, 306 (図版 1)
- 文献 174 新山雅広 2005「考察—乙木・佐保庄遺跡から出土した大型植物化石」『乙木・佐保庄遺跡—奈良県立橿

- 原考古学研究所調査報告第92冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁310-316, 317 (写真14)
- 文献175 新山雅広 2005「自然科学分析—石田遺跡から出土した大型植物化石」『石田遺跡—能登川駅西土地区画整理事業に伴う発掘調査—遺構編・遺構図版編・遺物編・遺物図版編—能登川町埋蔵文化財調査報告書第58集』能登川町教育委員会—能登川町埋蔵文化財センター 頁460-466, 469 (図版2)
- 文献176 新山雅広 2005「環境・年代・胎土の科学分析—水入遺跡から出土した大型植物化石」『水入遺跡—第2分冊—中近世・科学分析・考察編—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第108集』財団法人愛知県教育サービスセンター—愛知県埋蔵文化財センター 頁232-239, 241-243, 246 (図版2)
- 文献177 新山雅広 2006「妻木山地区における自然科学分析—妻木晩田遺跡妻木山地区から出土した炭化種実」『史跡妻木晩田遺跡妻木山地区発掘調査報告書—第8・11・13次調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅱ集』鳥取県教育委員会 頁117-123 (Fig. 90), 125 (Fig. 92), 135 (Fig. 97)
- 文献178 新山雅広 2007「科学分析—種子と樹種同定」『吹屋三角遺跡—国道3号(鯉沢バイパス)補助公共道路改築事業(国道・円滑)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第6集—財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第409集』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁121
- 文献179 新山雅広 2007「自然科学的分析—平城京左京四条三坊九坪から出土した大型植物化石」『平城京左京四条四坊・四条五坊発掘調査報告書—JR奈良時代駅連続立体・街路整備事業に係る発掘調査報告所1—奈良県文化財調査報告書第101集』奈良県立橿原考古学研究所 頁115-116, 118-122, 123 (写真8), 124 (写真9)
- 文献180 新山雅広 2007「総括—⑧朝日遺跡から出土した大型植物化石」『朝日遺跡Ⅶ—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第138集』財団法人愛知県教育サービスセンター—愛知県埋蔵文化財センター 頁96-97, 100-102, 107-114, 116, 120, 123 (図版1)
- 文献181 新山雅広 2007「自然科学分析—山王上遺跡から出土した炭化種実」『山王上遺跡—多摩平団地建替事業(第2期)に伴うL区(3次)の埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告書第210集』財団法人東京都スポーツ文化事業団—東京都埋蔵文化財センター 頁225-227
- 文献182 新山雅広 2007「自然科学的分析—湯ノ部遺跡(西河原宮ノ内遺跡・比留田法田遺跡)から出土した大型植物化石」『西河原宮ノ内遺跡・比留田法田遺跡発掘調査報告書—県道荒見上野近江八幡線改良工事に伴う調査』野洲市教育委員会 頁75-76, 78 (図版1)
- 文献183 新山雅広 2008「荒砥北三木堂Ⅱ遺跡から出土した炭化種実」『荒砥北三木堂Ⅱ遺跡—縄文時代～近世編—一般国道17号(上武道路)改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書—財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第421集』頁521
- 文献184 新山雅広 2008「一色青海遺跡から出土した炭化種実」『一色青海遺跡Ⅱ—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第147集』愛知県埋蔵文化財センター 頁39, 41, 43-44, 45 (写真10)
- 文献185 新山雅広 2008「付編—自然科学分析—住居跡出土の炭化種実」『志木市遺跡群—16—志木市の文化財第38集』埼玉県志木市教育委員会 頁87, 図版18
- 文献186 新山雅広 2008「分析調査—荒尾南遺跡から出土した大型植物化石(1)」『荒尾南遺跡Ⅲ—市道高屋松線建設に伴う緊急発掘調査—大垣市埋蔵文化財調査報告書第18集』大垣市教育委員会 頁162, 168-169
- 文献187 新山雅広・植田弥生 2006「新代広ミ遺跡A地点の調査—自然科学系の調査分析」『下月隈C遺跡Ⅵ(本文編)—福岡空港周辺整備工事に伴う下月隈C遺跡第7次調査報告—Ⅵ—福岡市埋蔵文化財調査報告書881』福岡市教育委員会 頁242-243, 248-249, 253-254, 図版1
- 文献188 新山雅広・蔭山誠一 2001「川原遺跡出土の植物遺体」『川原遺跡—第3分冊—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第91集』財団法人愛知県教育サービスセンター—愛知県埋蔵文化財センター 頁23-26, 24 (第1図)
- 文献189 新山雅広・鈴木茂 1998「自然科学的調査—今宿遺跡の自然科学的検討」『今宿遺跡—ソフトピアジャパン造成工事に伴う緊急発掘調査報告書—岐阜県文化財保護センター調査報告書第37集第二分冊』財団法人岐阜県文化財保護センター 頁14-19, 図版137
- 文献190 新山雅広・吉川純子 2000「遺構, 流路内より出土した大型植物化石分析」『玉津田中遺跡発掘調査報告書第8・10・12・13・15次調査—宮前田中線構造工事に伴う埋蔵文化財発掘調査』神戸市教育委員会文化財課 頁156-160, 163 (fig. 156)
- 文献191 橋本輝彦 2013「c. その他の遺構と遺物」『纏向遺跡発掘調査概要報告書—トリイノ前地区における発掘調査—桜井市埋蔵文化財発掘調査報告書第40集』桜井市教育委員会 頁26-28, 27 (写真4)
- 文献192 橋本真紀夫・辻本裕也 1997「分析と考察—古環境の復元」『伊興遺跡—下水道敷設工事に伴う発掘調査』

- 足立区伊興遺跡調査会 頁 251, 264, 371, 374-375 (写真 83)
- 文献 193 橋本裕行 1990「調査成果—植物遺存体」『水込遺跡—主要地方道岸和田・牛滝山・貝塚線建設に伴う発掘調査報告書—財団法人大阪府埋蔵文化財協会調査報告書第 58 輯』財団法人大阪府埋蔵文化財協会 頁 219, 図版編 図版 122
- 文献 194 パリノ・サーヴェイ株式会社 1971「亀田遺跡から出土した種実の同定」『亀田遺跡 (第 2 分冊)—亀田遺跡 I 地点の調査—太子竜野バイパス関係埋蔵文化財調査報告書—兵庫県埋蔵文化財調査報告第 209 冊』兵庫県教育委員会 頁 215-217, 218 (第 25 図)
- 文献 195 パリノ・サーヴェイ株式会社 1985「附章 自然科学的分析 3 西原遺跡出土試料種子及び材同定報告」『奥山 A 遺跡 奥山 C 遺跡 西原遺跡—水海道都市計画事業・内守谷土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 2—茨城県教育財団調査報告第 31 集』財団法人茨城県教育財団 頁 242
- 文献 196 パリノ・サーヴェイ株式会社 1986「自然科学—古環境の復元—種子分析」『東京・八王子市石川天野遺跡』八王子市石川天野遺跡調査会 頁 228, 351, Pl. 145
- 文献 197 パリノ・サーヴェイ株式会社 1987「自然科学的分析—炭化財・炭化種子同定」『宇都宮競馬場付属総合きゅう舎建設地内遺跡—御新田遺跡, 富士前遺跡, ヤッチャラ遺跡, 下り遺跡—栃木県埋蔵文化財調査報告第 85 集』(財) 栃木県文化振興事業団 頁 93-95, 図版 78
- 文献 198 パリノ・サーヴェイ株式会社 1988「付編—自然科学分析」『御殿前遺跡 (表・図版編)』北区教育委員会社会教育課 頁 77 (第二分冊)
- 文献 199 パリノ・サーヴェイ株式会社 1990「付篇 自然科学分析—草山遺跡出土の炭化種子・材, 火山灰の同定」『草山遺跡Ⅲ—本文篇—出土遺物観察表・図版篇 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 18』神奈川県立埋蔵文化財センター 頁 611-613, 615-617, 図版 61
- 文献 200 パリノ・サーヴェイ株式会社 1990「自然遺物—雌鹿塚遺跡埋蔵文化財整理事業に伴う種子同定業務委託報告」『雌鹿塚遺跡発掘調査報告書Ⅱ—沼津市文化財調査報告書第 51 集』沼津市教育委員会 頁 214-217, 219 (図版 2)
- 文献 201 パリノ・サーヴェイ株式会社 1990「田屋遺跡の自然科学分析」『田屋遺跡発掘調査報告書—一般国道 24 号 (和歌山バイパス) 建設工事に伴う発掘調査』和歌山県文化財センター 頁 264, 269-270
- 文献 202 パリノ・サーヴェイ株式会社 1991「三室間ノ谷遺跡出土種子同定」『上淵名裏神谷遺跡・三室間ノ谷遺跡—一般国道 17 号線 (上武道路) 改築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第 124 集』建設省—群馬県教育委員会—財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 203-204, PL. 104
- 文献 203 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「付章—植物化石からみた植生の変化—種実化石」『東京都板橋区徳丸原大橋遺跡—東京都板橋市場花き部建設地遺跡調査報告書』板橋市場内遺跡調査会 頁 539, 544-545, 571 (251: 種実化石の実体鏡写真)
- 文献 204 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「鑑定及び分析—花粉分析・炭化材同定・種子同定」『一戸町文化財調査報告書第 32 集—御所野遺跡 I—縄文時代中期の大集落跡』一戸町教育委員会 頁 364-372, 図版 196-197
- 文献 205 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「微細遺物について—自然科学分析」『北新宿三丁目遺跡—(仮称) 新宿区立北新宿特別養護老人ホーム建設事業に伴う緊急発掘報告書』新宿区福祉部遺跡調査会 頁 125
- 文献 206 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「自然科学分析」『下戸塚遺跡—西早稲田地区第一種市街地再開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—』新宿区西早稲田地区遺跡調査会 頁 256-257, 259, 263
- 文献 207 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「砂田遺跡出土の炭化材同定・種子同定及びプラントオパール等の分析結果について」『砂田 A 遺跡—一般県道宇都宮環状線に伴う埋蔵文化財発掘調査—栃木県埋蔵文化財調査報告第 132 集』財団法人栃木県文化振興事業団 頁 209, 216 (図版 2)
- 文献 208 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「付載 2—自然科学分析」『百間川沢田遺跡 3—旭川放水路 (百間川) 改修工事に伴う発掘調査Ⅷ (本文)—岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 84』岡山県文化財保護協会 頁 420-421, 426 (図版 3)
- 文献 209 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「発掘調査報告—菅生小学校裏山遺跡—付載 6 菅生小学校裏山遺跡種子同定報告」『山陽自動車道建設に伴う発掘調査 5 (本文)—岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 81』岡山県教育委員会 頁 418-419, 図版 115
- 文献 210 パリノ・サーヴェイ株式会社 1993「自然科学分析—種実同定」『太宰府・佐野地区遺跡群Ⅲ—尾崎遺跡第 1 次調査』太宰府市教育委員会 頁 104, 107

- 
- 文献211 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「種子同定報告」『梅坪遺跡Ⅱ—豊橋市埋蔵文化財調査報告書第3集』豊橋市教育委員会 頁216-217, 218 (図版1)
- 文献212 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「植物化石からみた古植生・古環境」『高島平北—都立板橋養護学校内埋蔵文化財発掘調査報告書2』都立学校遺跡調査会 頁92, 94, 114 (図版5-4-8)
- 文献213 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「付編—柴又帝釈天遺跡自然科学分析結果」『平成元・2年度葛飾区埋蔵文化財調査年報』葛飾区教育委員会生涯学習課 頁188, 195
- 文献214 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「自然科学分析」『古録天遺跡Ⅲ・古録天東遺跡Ⅳ—葛飾区遺跡調査会発掘調査報告書第33集』葛飾区遺跡調査会 頁160, 161, 163, 167, 170
- 文献215 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「自然科学分析調査—地形・環境変遷と人間活動のかかわり—遺物に関する調査—B地区住居内の炭化種実遺体」『東京外かく環状道路練馬地区関連遺跡—自然科学分析編—地形・環境変遷と人間活動のかかわり—東京外かく環状道路練馬地区遺跡発掘調査報告書』日本道路公団—東京外かく環状道路練馬地区遺跡調査会 頁141-143, 図版27
- 文献216 パリノ・サーヴェイ株式会社 1995「歴史時代の遺構—歴史時代の遺構に関する自然科学分析—住居跡等から出土した植物質食料の種類」『木曾森野遺跡Ⅲ歴史時代編2』木曾森野地区遺跡調査団 頁173, 178, 180, 187, 写真43
- 文献217 パリノ・サーヴェイ株式会社 1996「自然科学的分析—Ⅵ区大型植物遺体の同定」『金山遺跡Ⅵ区—北九州市埋蔵文化財調査報告書第184集』財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室 頁131-137, 図版33-34
- 文献218 パリノ・サーヴェイ株式会社 1996「付章馬場遺跡・行人田遺跡出土の炭材・炭化種子同定報告について」『馬場遺跡・行人田遺跡—牛久北部特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書(Ⅳ)—茨城県教育財団文化財調査報告第106集』財団法人茨城県教育財団 頁262-263, 264 (図版1)
- 文献219 パリノ・サーヴェイ株式会社 1996「田ノ保遺跡の古環境」『北町遺跡・田ノ保遺跡—平成5・6年度主要地方道渋川・大胡線特殊改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—北橋村埋蔵文化財発掘調査報告書第18集』北橋村教育委員会 頁353, 図版35
- 文献220 パリノ・サーヴェイ株式会社 1997「自然科学分析—第218次調査(7ANEHD—2)の分析結果」『鶏冠井遺跡—向日市埋蔵文化財調査報告書第45集』財団法人向日市埋蔵文化財センター 頁224, 226-227, 232
- 文献221 パリノ・サーヴェイ株式会社 1997「付載—浜松市伊場遺跡の自然科学的分析」『伊場遺跡遺物編(いばいせきいぶつへん)7—伊場遺跡発掘調査報告書第9冊』浜松市教育委員会 頁152-153
- 文献222 パリノ・サーヴェイ株式会社 1997「自然科学分析の成果—まとめ」『長瀬高浜遺跡発掘調査報告書Ⅶ第2分冊—北条道路建設に伴う発掘調査報告書—鳥取県教育文化財団調査報告書49』財団法人鳥取県教育文化財団鳥取県埋蔵文化財センター 頁104-106, 図版1
- 文献223 パリノ・サーヴェイ株式会社 1998「付章—炭化種子同定」『千葉県東南部ニュータウン20—有吉北貝塚2(古墳時代以降)20—千葉県文化財センター調査報告第325集』財団法人千葉県文化財センター 頁252-253
- 文献224 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「付編—真田・北金目遺跡群から出土した木製品および種実遺体の同定」『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書1-1~3区平塚都市計画事業真田・北金目特定土地区画整理事業に伴う調査報告1』平塚市真田・北金目遺跡調査会—住宅・都市整備公団 頁503-504, 図版3
- 文献225 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「試料の分析報告—小野遺跡第1地点から出土した炭化材・種子の種類」『小野—小野遺跡第1地点調査報告』松戸市遺跡調査会 頁65-66, 写真26
- 文献226 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「付章 実穀寺子遺跡から出土した炭化材・種実遺体の種類」『実穀古墳群, 実穀寺子遺跡1—荒川本郷地区特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書I—茨城県教育財団文化財調査報告第144集』財団法人茨城県教育財団 頁275-276, 277 (図版1)
- 文献227 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「南山畑遺跡から出土した炭化材および種実遺体の種類」『南山畑遺跡—豊橋市埋蔵文化財調査報告書第10集』豊橋市教育委員会 頁293-294, 296 (図版2)
- 文献228 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「分析と考察—古環境の復元」『伊興遺跡Ⅱ—保木間堀親水水路整備工事に伴う発掘調査』足立区伊興遺跡調査会 頁217-218
- 文献229 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「自然科学分析—古代の用材や植物質食糧について」『武蔵国分寺南西地区発掘調査報告—府中都市計画道路3・2・2の2号線建設に伴う調査』武蔵国分寺関連(府中都市計画道路3・2・2の2号線)遺跡調査会 頁96, 102-104, 106, 109, 565-567, 584 (図版4), 585 (図版5)
-

- 文献 230 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「多功南原遺跡出土試料の種実同定」『多功南原遺跡—住宅・都市整備公団宇都宮都市計画事業多功南原地区埋蔵文化財発掘調査—理化学分析編—栃木県埋蔵文化財調査報告第222集』財団法人栃木県文化振興事業団 埋蔵文化財センター 頁31, 33-36
- 文献 231 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「新代広ミ遺跡 A 地点の調査—自然科学系の調査分析」『新代広ミ遺跡—県道三潁上陽線関係埋蔵文化財調査報告—福岡県文化財調査報告書第139集』頁15, 17-18, 24 (図版4)
- 文献 232 パリノ・サーヴェイ株式会社 1999「分析—自然科学分析—樹種及び種実同定について」『牟田寄遺跡Ⅶ—佐賀市文化財調査報告書102』佐賀市教育委員会 頁204-206, 210
- 文献 233 パリノ・サーヴェイ株式会社 2000「付編—自然科学分析結果報告—種子同定」『三ッ俣遺跡Ⅱ (F 地区)—財団法人かながわ考古学財団調査報告80』財団法人かながわ考古学財団 頁153-154
- 文献 234 パリノ・サーヴェイ株式会社 2000「自然科学調査の成果—鴨部・川田遺跡出土の種実について」『鴨部・川田遺跡Ⅱ (第2分冊)—高松東道路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告第9冊』財団法人香川県埋蔵文化財調査センター 頁22-23, 24 (写真5)
- 文献 235 パリノ・サーヴェイ株式会社 2001「纏向遺跡第119・121次調査概報 [ 箸中イヅカ古墳・箸中西遺跡 ]—自然科学分析調査結果」『奈良県遺跡調査概報2000年度 (第二分冊)』奈良県立橿原考古学研究所 頁42-43, 46, PL. 24
- 文献 236 パリノ・サーヴェイ株式会社 2001「自然科学分析—下和田遺跡から出土した炭化材・種実遺体の同定」『東京都立川市下大和田遺跡Ⅱ—兼六土地建物株式会社宅地造成及び戸建建物建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—立川市埋蔵文化財調査報告第9集』立川市下大和田遺跡調査団 頁78-80, 82
- 文献 237 パリノ・サーヴェイ株式会社 2001「化学的調査—自然遺物の科学分析」『史跡大御堂廃寺跡発掘調査報告書—倉吉市文化財調査報告書第107集』倉吉市教育委員会 頁86-87, 96, 図版39
- 文献 238 パリノ・サーヴェイ株式会社 2001「付編 西鴨地遺跡の自然科学分析—西鴨地遺跡から出土した種実遺体・木材の同定」『西鴨地遺跡—四国横断自動車道 (伊野～須崎間) 建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—高知県埋蔵文化財センター発掘調査報告書第61集』財団法人高知県文化財埋蔵文化財センター 頁114-117, 120 (図版2)
- 文献 239 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「付載2—南谷遺跡出土自然遺物の自然科学分析」『南谷遺跡—遺物編2—木製品本文・石器・骨角製品—浜岡町埋蔵文化財調査報告書第9集』浜岡町教育委員会 頁65-68
- 文献 240 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「森本窪之庄遺跡第12次調査—付論：本窪之庄遺跡の自然科学分析」『奈良県遺跡調査概報2002年 (第一分冊)』奈良県立橿原考古学研究所 頁186, 188, 194 (写真17)
- 文献 241 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「自然科学分析—微細炭化物の同定」『東京都新宿区北新宿二丁目遺跡Ⅰ—(仮称)北新宿二丁目共同住宅地点 < 第一冊 > 旧石器時代・縄文時代編』財団法人新宿区生涯学習財団新宿歴史博物館埋蔵文化財課 頁135-136
- 文献 242 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「炭化種実の同定—武田石高・西埜遺跡から出土した炭化種実」『武田西埜遺跡 奈良・平安時代編—(財)ひたちなか市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告第24集』財団法人ひたちなか市文化・スポーツ振興公社 頁392-393, 397
- 文献 243 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「自然科学分析」『吉身西遺跡—県立成人病センター改築事業に伴う発掘調査報告書』滋賀県教育委員会事務局文化財保護課—財団法人滋賀県文化財保護協会 頁105-106, 112 (第64図)
- 文献 244 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「自然科学的分析—石名田木舟遺跡自然科学分析調査報告」『石名田木舟遺跡発掘調査報告—能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ—富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第14集』財団法人富山県文化振興財団 頁147, 154-155, 159, 163
- 文献 245 パリノ・サーヴェイ株式会社 2002「付章2 徳蔵地区遺跡の自然科学分析」『徳蔵地区遺跡—近畿自動車道松原那智勝浦線 (御坊～南部) 建設に伴う発掘調査報告書』財団法人和歌山県文化財センター 頁63, 73-76, 82 (図版4)
- 文献 246 パリノ・サーヴェイ株式会社 2003「付篇—種実同定分析」『折返 A 遺跡・菅俣 B 遺跡第2分冊—古墳時代首長居館と集落の調査—泉第三土地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告Ⅲ—いわき市埋蔵文化財調査報告第95冊』財団法人いわき市教育文化事業団第一分冊 頁69, 77, 81; 第二分冊 521-523, 525, 527-529
- 文献 247 パリノ・サーヴェイ株式会社 2004「四条遺跡2004 (30次)—附篇：四条遺跡2004年度調査 (30次) の自然科学分析」『奈良県遺跡調査概報2004年 (第二分冊)』奈良県立橿原考古学研究所 頁23-24, 34 (写真16)

- 
- 文献 248 パリノ・サーヴェイ株式会社 2004「自然科学的分析—曲川遺跡の自然科学分析」『曲川遺跡—奈良県立  
橿原考古学研究所調査報告第90冊 奈良県立橿原考古学研究所 頁137, 149
- 文献 249 パリノ・サーヴェイ株式会社 2004「付篇 津宮遺跡群の自然科学分析」『津宮遺跡群—財団法人香取郡市  
文化財センター調査報告書第88集 財団法人香取郡市文化財センター 付篇 頁1-2, 図版1
- 文献 250 パリノ・サーヴェイ株式会社 2004「付章 辰海道遺跡の自然科学分析」『辰海道遺跡1—茨城県教育財団  
文化財調査報告第222集 財団法人茨城県教育財団 頁5-6, 9 (図版1)
- 文献 251 パリノ・サーヴェイ株式会社 2004「付章自然科学分析—四方谷岩伏遺跡の縄文時代後期の古環境と動植  
物質食料について」『四方谷岩伏遺跡—福井県埋蔵文化財調査報告書第71集 福井県教育庁埋蔵文化財調査  
センター 頁122-123, 129 (図版2)
- 文献 252 パリノ・サーヴェイ株式会社 2005「自然科学分析—堆積環境・古植生に関する分析調査」『六斗蒔遺跡—  
日本海沿岸東北自動車道関係発掘調査報告書Ⅷ—新潟県埋蔵文化財調査報告書 第143集 新潟県教育委員会・  
(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 頁33, 38, 55 (第21図 種実遺体)
- 文献 253 パリノ・サーヴェイ株式会社 2005「長岡京跡左京第501次調査に伴う自然科学分析」『向日市埋蔵文化  
財調査報告書—長岡京跡ほか第68集 財団法人向日市埋蔵文化財センター 頁182-183, 190 (第93図),  
196, 202
- 文献 254 パリノ・サーヴェイ株式会社 2005「自然科学分野における分析・鑑定—津島遺跡井戸内埋積物中の種実  
の種類」『津島遺跡6—岡山県総合グラウンド新体育館建設工事に伴う発掘調査—岡山県埋蔵文化財発掘調  
査報告190 岡山県文化財保護協会 頁159-160, 163, 165, 166 (図版1)
- 文献 255 パリノ・サーヴェイ株式会社 2006「自然科学分析—炭化種子・種実の同定分析」『府中市武蔵国府関連  
遺跡—都市計画道路3・4・22号線整備事業に伴う調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第194集 財  
団法人東京都生涯学習文化財団 東京都埋蔵文化財センター 頁191-192, 196 (第141図)
- 文献 256 パリノ・サーヴェイ株式会社 2006「自然遺物の分析—出土炭化種実について」『千原台ニュータウン—  
市原市草刈遺跡(D区・E区)14—千葉県教育振興財団調査報告第535集 財団法人千葉県文化財センター  
頁285-288
- 文献 257 パリノ・サーヴェイ株式会社 2006「火山灰・土壌中花粉および出土種実の自然科学分析」『横田遺跡・  
横田北古墳群発掘調査報告書—兵庫県文化財調査報告第303冊 兵庫県教育委員会 頁91, 95 (写真3)
- 文献 258 パリノ・サーヴェイ株式会社 2007「自然科学分析」『土器塚遺跡(第3次調査)—区立駒場野公園整備に  
伴う発掘調査報告書—目黒区埋蔵文化財発掘調査報告書第20集 株式会社オーシャン埋蔵文化財調査室—  
目黒区教育委員会 頁225-227
- 文献 259 パリノ・サーヴェイ株式会社 2007「附章—自然科学分析」『首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報  
告書—長南町岩川遺跡・茂原市国府関連遺跡7巻—千葉県教育振興財団調査報告第583集 財団法人千葉県教  
育振興財団文化財センター 頁119, 121, 124-126, Photo5-6
- 文献 260 パリノ・サーヴェイ株式会社 2007「遺物—種実遺体」『東木津遺跡調査報告—市道清水町三丁目西藤平  
蔵線工事に伴う平成18年度の調査—高岡市埋蔵文化財調査報告第14冊 高岡市教育委員会 頁13-14, 19,  
図版12
- 文献 261 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「自然科学分析—堆積環境・古植生に関する分析調査」『吉津川遺跡  
—一般国道403号交通連携事業(三条北バイパス)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—三条市文化財調査  
報告第21号 三条市教育委員会 頁67-68, 89
- 文献 262 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「理化学分析—銚子塚古墳の自然科学分析—微細植物片分析・種実同  
定」『国指定史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳—平成16年度発掘調査報告書及び平成18・19年度史跡等環境整  
備報告書—山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第253集 山梨県埋蔵文化財センター—山梨県教育委員  
会 頁113-117
- 文献 263 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「自然科学による同定」『玉櫛遺跡Ⅲ—大阪府菅茨木玉櫛住宅(建替)  
建設工事に伴う発掘調査報告書—財団法人大阪府文化財センター調査報告書第184集 財団法人大阪府文化  
財センター 頁135, 141, 147, 164
- 文献 264 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「炭化材の樹種同定およびC14年代測定・種子の同定」『上ノ平遺跡  
—第二東名建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—掛川市—2(第2分冊)—静岡県埋蔵文化財調査研  
究所調査報告第187集 財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所 頁89-91
- 文献 265 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「理化学分析—八町Ⅱ遺跡の自然科学分析—平成16・17年度調査区
-

- 【A～G区】の試料から」『富山市八町Ⅱ遺跡発掘調査報告書—県営農免農道（呉羽和合地区）整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—富山市埋蔵文化財調査報告 22』富山市教育委員会富山市埋蔵文化財センター 頁 179
- 文献 266 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「自然環境の変遷と動植物と人々との関わり—種実同定」『七尾市小島西遺跡—街路事業都市計画道路川原松百線に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』財団法人石川県埋蔵文化財センター 頁 144, 147, 写真図版 118
- 文献 267 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「自然科学分析の成果—炭化種実同定—第 16 次・19 次発掘調査（松尾頭地区）及び第 18 次発掘調査（妻木新山地区）における炭化種実同定」『史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書—第 16・19 次発掘調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅲ集』鳥取県教育委員会 頁 94-99
- 文献 268 パリノ・サーヴェイ株式会社 2008「自然科学分析の成果—炭化種実同定—第 19 次発掘調査における炭化種実同定」『史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書—第 16・19 次発掘調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅲ集』鳥取県教育委員会 頁 99-100, 102-105
- 文献 269 パリノ・サーヴェイ株式会社 2009「自然科学分析—湘南新道関連遺跡出土の樹種同定」『湘南新道関連遺跡—大会原遺跡・六ノ域遺跡—都市計画道路 3・3・6 号（湘南新道）建設に伴う発掘調査Ⅱ—かながわ考古学財団調査報告 242』財団法人かながわ考古学財団 頁 214-216, 220-221, 478-479, 484（第 297 図）
- 文献 270 パリノ・サーヴェイ株式会社 2009「付編 5—中里峡上遺跡の自然科学分析調査」『東京都北区中里峡遺跡—中里三丁目 7 番 7 号駒込学生会館女子寮地点（北区 No. 40）』東京都北区教育委員会 頁 97-98, 100（図版 1）
- 文献 271 パリノ・サーヴェイ株式会社 2009「付編 2—中野区広町遺跡出土炭化物種子同定」『東京都中野区広町遺跡』東京都教育委員会—東京都住宅供給公社—中野区教育委員会 頁 301-306
- 文献 272 パリノ・サーヴェイ株式会社 2009「動植物遺存体」『石塚六遺跡調査報告—主要地方道高岡環状線道路改良事業に伴う平成 19 年度の調査—高岡市埋蔵文化財調査報告第 20 冊』高岡市教育委員会 頁 11-13
- 文献 273 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「自然科学分析—四条遺跡出土種実遺体の種類」『四条遺跡Ⅱ—大和高田バイパス建設にともなう発掘調査報告書（Ⅳ）—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第 106 冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁 415-417, 418（写真 21）
- 文献 274 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010『難波宮址の研究第十六』財団法人大阪市文化財協会 頁 82, 84, 86-87, 89-92, 97-98, 103（写真 7）, 104（写真 8）
- 文献 275 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「成果と課題—自然科学分析の成果」『宮堀北遺跡—（仮称）赤羽体育館建設予定地—北区埋蔵文化財調査報告第 37 集』東京都北区教育委員会 頁 146-147
- 文献 276 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「自然科学分析—微細物分析および種実同定」『夏見台遺跡（13）』船橋市教育委員会 頁 123-125, 131-134
- 文献 277 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「武田遺跡群出土炭化種実分析」『武田遺跡群—総括・補遺編—（財）ひたちなか市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告第 40 集』財団法人ひたちなか市文化・スポーツ振興公社 頁 213, 219
- 文献 278 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「附章 森後遺跡発掘調査に係わる自然科学分析」『森後遺跡Ⅱ（本文編）—経営体育成基盤整備事業江川南部Ⅰ地区に伴う埋蔵文化財発掘調査—栃木県埋蔵文化財調査報告第 328 集』財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター 頁 307, 316-318, 332（図版 4）
- 文献 279 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「自然科学分析の結果—芝宮中原遺跡より出土した炭化種実炭化樹種」『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 18—佐久市内その 4・小諸市内その 2—長野県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 39』佐久市教育委員会文化財課 頁 400-403, 421（図版 1 芝宮・中原遺跡出土炭化種実 1）
- 文献 280 パリノ・サーヴェイ株式会社 2010「自然科学分析—古環境調査」『文珠領遺跡発掘調査報告書Ⅱ—町道山村文珠領線改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査—大山町文化財調査報告書第 7 集』大山町教育委員会 頁 52, 68, 74, 82（図版 6）
- 文献 281 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然科学分析—平城京 142—155 右京四条一坊の自然科学分析」『平城京三条大路Ⅰ—国道 308 号整備事業に伴う発掘調査報告書（Ⅲ）—奈良県文化財調査報告書第 139 集』奈良県立橿原考古学研究所 頁 148-149
- 文献 282 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然科学分析—飛鳥京跡の自然科学分析」『飛鳥京跡Ⅳ—外郭北部域の調査—奈良県立橿原考古学研究所調査報告—第 108 冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁 120-126
- 文献 283 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「脇本遺跡における自然科学分析—竪穴建物出土炭化物の種類」『脇

- 本遺跡Ⅰ—奈良県立橿原考古学研究所調査報告第109冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁168-171, 175 (図119)
- 文献284 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「南六条北ミノ遺跡—付論2 南六条北ミノ遺跡の自然科学的分析」『奈良県遺跡調査概報2011年(第二分冊)』奈良県立橿原考古学研究所 頁63
- 文献285 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然科学分析—城敷遺跡の自然科学的分析」『城敷遺跡Ⅱ—高坂駅東口第二特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ—埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第382集』財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 頁475, 477-478, 481 (第334図)
- 文献286 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然化学分析—美通遺跡(A1区・C区)の自然科学的分析」『美通遺跡A・C区—国道139号(都留バイパス)建設に伴う発掘調査報告書—山梨県埋蔵文化財センター調査報告書第274集』山梨県埋蔵文化財センター 頁69-86
- 文献287 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然科学分析の成果—松尾頭地区8区, 8区北東側丘陵, 9区出土の炭化種実同定」『史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書—第20・21・23次調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅳ集』鳥取県教育委員会 頁216-219, 221 (第201図)
- 文献288 パリノ・サーヴェイ株式会社 2011「自然科学分析の成果—松尾頭地区7区出土の炭化種実同定」『史跡妻木晩田遺跡松尾頭地区発掘調査報告書—第20・21・23次調査—史跡妻木晩田遺跡発掘調査報告書第Ⅳ集』鳥取県教育委員会 頁209-211, 215 (第200図)
- 文献289 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「遺構・遺物の検討—古環境分析」『難波宮址の研究第十八』財団法人大阪市文化財協会 頁129-131, 135, 139, 149 (写真10)
- 文献290 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「調査の結果—自然科学分析」『恵美須遺跡発掘調査報告』財団法人大阪市博物館協会大阪文化財研究所 頁69, 76, 図版23・30
- 文献291 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「分析—梶子遺跡第13次発掘調査における自然科学分析」『梶子遺跡13次』財団法人浜松市文化振興財団 頁173, 175, 177 (第146図)
- 文献292 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「自然科学分析—野市山王上遺跡出土の種実および樹種同定」『日野市山王上遺跡—多摩平団地建替事業(第Ⅲ期)に伴うN区・O区の埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第267集』財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター 頁319-324, 323 (第228図)
- 文献293 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「自然科学分析—田端西台通遺跡出土炭化物の樹種同定, 種子同定及び炭素年代測定分析」『北区田端西台通遺跡—東京都市計画事業田端二丁目付近土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査—東京都埋蔵文化財センター調査報告第272集』財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター 頁394-395, 395 (図版2)
- 文献294 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「付編—志村城山遺跡の自然科学分析」『志村城山遺跡第5地点—区立駒場野公園整備に伴う発掘調査報告書—目黒区埋蔵文化財発掘調査報告書第20集』板橋区教育委員会—共和開発株式会社 頁195-197, 199, 203 (図版1)
- 文献295 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「自然科学分析—御殿前遺跡における古代及びその前後の植物利用状況について」『東京都北区御殿前遺跡』北区教育委員会事務局飛鳥山博物館—大成エンジニアリング株式会社埋蔵文化財調査部門 頁399-401, 図版62
- 文献296 パリノ・サーヴェイ株式会社 2012「自然科学分析—反町遺跡出土遺物の自然科学分析」『反町遺跡Ⅲ—高坂駅東口第二特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅳ—埼玉県埋蔵文化財調査事業団第393集』財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 頁585-588, 589 (第517図)
- 文献297 パリノ・サーヴェイ株式会社 2013「付章1—自然科学分析1」『平安京右京三条一坊六・七町跡—西三条第(百花亭)跡—京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2011-9』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁58-59
- 文献298 パリノ・サーヴェイ株式会社 2013「付章—自然科学分析」『平安京右京三条三坊三町跡—西ノ京遺跡—京都市埋蔵文化財研究所発掘調査報告2012-23』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁49, 53, 56
- 文献299 パリノ・サーヴェイ株式会社 2013「科学分析—自然科学分析」『禁野本町遺跡Ⅳ—市立枚方市民病院の新病院整備事業に伴う禁野本町遺跡第172次調査報告書—枚方市文化財調査報告第71集』公益財団法人枚方市文化財研究調査会 頁161-163, 165, 167-170, 172, 175
- 文献300 パリノ・サーヴェイ株式会社 2013「自然科学分析—井戸・土坑等の微細物分析, 種実・昆虫同定」『上久津呂中屋遺跡発掘調査報告—能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告X第三分冊自然科学分析・総括



- 編一富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告第55集』公益財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所 頁260, 262-263, 271, 273 (写真55)
- 文献301 パリノ・サーヴェイ株式会社 2013「自然科学分析と樹種同定」『平成21～23年度県営農業基盤整備事業地域(伊勢管内)埋蔵文化財発掘調査報告—三重県埋蔵文化財調査報告336』頁86-87, 89
- 文献302 パリノ・サーヴェイ株式会社 2014「附編—中里峡上遺跡検出遺構出土炭化種実同定」『東京都北区中里峡上遺跡発掘調査報告書—中里三丁目18番地点』北区教育委員会—共和開発株式会社 頁70-71, 図版15
- 文献303 パリノ・サーヴェイ株式会社 2014「自然科学的分析—種実遺体同定・木の樹種同定・昆虫同定」『七尾市国分遺跡—国分B遺跡—一般国道249号(藤橋バイパス)国道改築工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書』公益財団法人石川県埋蔵文化財センター 頁89-92, 94, 96
- 文献304 藤岡謙二郎 1978「自然遺物」『大和唐古弥生式遺跡の研究—京都帝国大学文学部考古学研究報告第16冊』臨川書店 頁226, 図版第106
- 文献305 藤田三郎 1988「自然遺物」『唐古・鍵遺跡521・23次発掘調査概報—田原本町埋蔵文化財調査概要6』田原本町教育委員会 頁21-23, 60, 図版62, 63
- 文献306 藤根 久 2008「北条遺跡から出土した大型植物化石」『姫路市北条遺跡—JR山陽本線等連続立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ—兵庫県文化財調査報告第325』兵庫県教育委員会 頁206-207, 209 (第145図)
- 文献307 堀木真美子 2000「朝日遺跡の自然遺物—種実同定」『朝日遺跡Ⅵ—新資料館地点の調査—本文—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第83集』財団法人愛知県埋蔵文化財センター 頁526
- 文献308 堀木真美子・上田恭子・森勇一 2004「自然科学分析—志賀公園遺跡より出土した自然物」『志賀公園遺跡Ⅱ—愛知県埋蔵文化財センター調査報告書第121集』愛知県埋蔵文化財センター 頁29, 35 (図20)
- 文献309 前川文夫 1947「遺物について—動植物遺品」『登呂遺跡』毎日新聞社 頁57
- 文献310 前川文夫 1949「自然遺物—果実及び種子等」『登呂—限定版五百部』毎日新聞社 頁93-94, 100, 図版76 (3)
- 文献311 前川文夫 1954「葉・果実および種子類」『登呂—限定版五百部』毎日新聞社—日本考古学協会 頁358-359, 366-367, 396
- 文献312 松江実千代 1995「自然科学的分析結果—芥川遺跡の植物遺体について」『芥川遺跡発掘調査報告書—高槻市文化財調査報告書第18冊』高槻市立埋蔵文化財調査センター 頁239-240, 図版150
- 文献313 松谷暁子 1991「IV 武田遺跡群出土の植物遺残の識別」『武田Ⅳ—1990年度武田遺跡群発掘調査の成果—(財)勝田市文化・スポーツ振興公社文化財調査報告第5集』財団法人勝田市文化・スポーツ振興公社文化振興課文化財調査係 頁109, 113, 113 (図版4)
- 文献314 松谷暁子 2000「付編—四葉地区遺跡出土の植物種子について」『板橋区四葉地区遺跡—平成11年度—中近世・古代・弥生時代編—板橋区四葉地区遺跡調査報告書Ⅶ』板橋区四葉地区遺跡調査会 頁376-377, 写真図版4
- 文献315 松元美由紀 2011「自然科学分析—南区の自然科学分析」『横田堂垣内遺跡—郡山ジャンクション建設に伴う発掘調査報告所Ⅰ—奈良県文化財調査報告第143冊』奈良県立橿原考古学研究所 頁79, 90-92, PL. 73
- 文献316 松元美由紀・高橋敦 2009「自然科学分析—八王子市中田遺跡F地区出土種実・炭化材の種類」『八王子市中田遺跡—都営八王子中野町団地(4期)埋蔵文化財発掘調査委託—東京都埋蔵文化財センター調査報告第231集』財団法人東京都スポーツ文化事業団 東京都埋蔵文化財センター 頁385-386, 389
- 文献317 光谷拓実 2003「古代庭園の植生復元」『平城宮発掘調査報告XV—東院庭園地区の調査—奈良県文化財研究所学報第69冊』独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所 頁209-212
- 文献318 光谷拓実・岡田文男 1990「遺物—植物遺存体」『平城京右京八条一坊十三・十四坪発掘調査報告』奈良国立文化財研究所—大和郡山市教育委員会 頁137, PL. 55
- 文献319 南木睦彦 1986「付編—鍛冶谷・新田口遺跡出土の種実類」『鍛冶谷・新田口遺跡—埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第62集』埼玉県埋蔵文化財調査事業団 頁411-412
- 文献320 南木睦彦 1988「東京都板橋区早瀬前遺跡から産出した大型植物遺体」『新河岸三丁目早瀬前遺跡』新河岸三丁目早瀬前遺跡調査会 頁346-347, 349-350, 図版95
- 文献321 南木睦彦 1990「雨流遺跡の大型植物化石」『雨流遺跡—兵庫県文化財調査報告書第79冊』兵庫県教育委員会 頁100-104, 図版編 PL. 149 雨流遺跡の大型植物化石 (1)

- 
- 文献 322 南木陸彦 1991「遺跡の古環境—神門遺跡の植物遺体と古植物相・堆積環境の復元—大型植物遺体群集と層位的変化」『千葉市神門遺跡—縄文時代早・前期を主とした低湿地遺跡の調査』千葉市教育委員会 頁167-169, 173, 177, 図版55
- 文献 323 南木陸彦 1991「四柳白山下遺跡の大型植物化石」『四柳白山下遺跡Ⅱ』羽咋市教育委員会 頁49-51, 図版23
- 文献 324 南木陸彦 1992「川除・藤ノ木遺跡の大型植物化石」『川除・藤ノ木遺跡—武庫川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書—兵庫県文化財調査報告第104冊』兵庫県教育委員会 頁815, 817-818, 819 (第733図)
- 文献 325 南木陸彦 1995「遺物—植物・動物遺存体」『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告—長屋王邸・藤原麻呂邸の調査 本文編—奈良国立文化財研究所学報第54冊』奈良国立文化財研究所 頁358-362
- 文献 326 南木陸彦 1995「SD5100出土種子2」『平城京左京二条二坊・三条二坊発掘調査報告—長屋王邸・藤原麻呂邸の調査 図版編—奈良国立文化財研究所学報第54冊』奈良国立文化財研究所 Ph. 283
- 文献 327 南木陸彦 1995「付章—二口かみあれた遺跡の大型植物化石」『二口かみあれた遺跡』志雄町教育委員会 頁236-240, 図版I
- 文献 328 南木陸彦 1999「付編2—多摩ニュータウンNo. 107遺跡大型植物化石群集の特徴」『多摩ニュータウン遺跡No. 107遺跡古代編—東京都埋蔵文化財センター調査報告第64集』財団法人東京都教育文化財団 東京都埋蔵文化財センター 頁242, 246
- 文献 329 宮成良佐・粉川昭平 1977「十里町遺跡—遺物—石器・木器・その他の遺物—植物種子」『宮司遺跡・十里町遺跡調査報告書』長浜市教育委員会 頁110-111
- 文献 330 村田泰輔 2012「自然科学分析等の成果—種実遺体の検討」『青谷上寺地遺跡12—第11・12次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告46』鳥取県埋蔵文化財センター 頁240-243
- 文献 331 村田泰輔 2014「自然科学分析等の成果—種実類の検討—種実遺体の検討」『青谷上寺地遺跡13—第13次・第14次発掘調査報告書—鳥取県埋蔵文化財センター調査報告59』鳥取県埋蔵文化財センター 頁288-289, 294-297
- 文献 332 初山泰一・亘理俊次・山内文「植物性出土品」『葦山村山木遺跡』静岡県葦山村 頁83, 89, 92
- 文献 333 桃崎祐輔 1989「神明原・元宮川遺跡出土の種実について」『大谷IV—巴川(大谷川)総合治水対策特定河川事業埋蔵文化財発掘調査報告書(神明原・元宮川遺跡)4』静岡県埋蔵文化財調査研究所 頁303-306, 309-321
- 文献 334 桃崎祐輔 1990「雌鹿塚遺跡出土の桃核について」『雌鹿塚発掘調査報告書Ⅱ—沼津市文化財調査報告書第51集』沼津市教育委員会 頁221-224
- 文献 335 桃崎祐輔 1993「自然科学分析—種子分析」『来住廃寺遺跡第15次調査—松山市文化財調査報告書第34集』松山市教育委員会 頁148-151
- 文献 336 百原新 1996「国立西洋美術館遺跡発掘に伴って出土した種実遺体」『上野忍ヶ岡遺跡国立西洋美術館地点調査報告書—21世紀ギャラリー(仮)新築工事に伴う事前発掘調査』国立西洋美術館埋蔵文化財発掘調査委員会 頁3
- 文献 337 百原新 1996「自然科学的分析—君津市常代遺跡の大型植物化石群」『常代遺跡群—第3分冊常代遺跡跡生時代大溝・分析鑑定・考察編—財団法人君津郡市文化財センター発掘調査報告書第112集』財団法人君津郡市文化財センター 頁865, 867-868
- 文献 338 百原新 1996「自然科学的分析—君津市郡遺跡の大型植物化石群」『郡遺跡群発掘調査報告書Ⅱ—財団法人君津郡市文化財センター発掘調査報告書第117集』財団法人君津郡市文化財センター 頁322-325
- 文献 339 百原新・那須浩郎・久保田礼 1999「付編 自然科学分析結果報告—Ⅱ. No. 1-A 地点の大型植物化石群」『池子遺跡群X No. 1-A 地点 池子米軍家族住宅建設にともなう調査』かながわ考古学財団調査報告46』財団法人かながわ考古学財団 頁875, 877-878
- 文献 340 森豊 1947「遺物について—動植物遺品」『登呂遺跡』毎日新聞社 頁57
- 文献 341 安田喜憲・藤沢浅 1988「付編—広島県大宮遺跡の古環境復元調査2」『大宮遺跡発掘調査報告書九反田地区Ⅰ・Ⅱ—広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第66集』財団法人広島県埋蔵文化財調査センター 頁5, 図版52(写真23)
- 文献 342 山内文 1986「付編2—玉越遺跡出土材の樹種および果実・種子について」『玉越遺跡一般国道1号袋井バイパス(袋井地区)埋蔵文化財発掘調査報告書』磐田市教育委員会 頁51(図版51), 153, 155
- 文献 343 山本四郎 1974「出土遺物—植物遺体」『古照遺跡報告書—松山市文化財調査報告書第4集』松山市教育
-

- 委員会 頁 46, 75, 96, 図版 26
- 文献 344 山本隆・久永春男 1974「伊保遺跡柵口地区において出土した植物遺体」『伊保遺跡』猿投遺跡調査会 頁 153, 156-157, 165
- 文献 345 吉川純子 (パレオ・ラボ) 1990「自然科学的分析—大型植物遺体分析—手取清水遺跡の大型植物遺体」『東北横断自動車道秋田線発掘調査報告書V—手取清水遺跡—秋田県文化財調査報告書第 190 集』秋田県教育委員会 頁 364-372, 図版 196-197
- 文献 346 吉川純子 1993「自然科学的分析—深沼遺跡の大型植物化石」『岐阜県文化財保護センター調査報告書第 8 集—深沼遺跡』財団法人岐阜県文化財保護センター 頁 37-39
- 文献 347 吉川純子 1995「分析成果—出土種実」『中高瀬観音山遺跡—関越自動車道 (上越線) 地域埋蔵文化財発掘調査報告書第 32 集—(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘報告第 194 集』(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 326
- 文献 348 吉川純子 1995「付編 2—多摩ニュータウン No. 916 遺跡出土炭化種実」『多摩ニュータウン遺跡平成 4 年度 (第 2 分冊) —東京都埋蔵文化財センター調査報告第 19 集』財団法人東京都教育文化財団 東京都埋蔵文化財センター 頁 235-236, 図版 1 (353)
- 文献 349 吉川純子 1996「付載 理科学分析—2. 元総社寺田遺跡Ⅵ区低地出土の大型植物化石」『元総社寺田遺跡Ⅲ—一級河川牛池川河川改修工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書第 3 集<本編・木器編>』—(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘報告第 208 集』(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 251-253
- 文献 350 吉川純子 1996「分析成果—天引狐崎遺跡より出土した大型植物化石」『天引狐崎遺跡Ⅱ—関越自動車道 (上越線) 地域埋蔵文化財発掘調査報告書第 39 集』(財) 群馬県埋蔵文化財調査事業団 頁 233-234, 252 (図版 1)
- 文献 351 吉川純子 1997「自然科学分析—菅原神社台地上遺跡より出土した炭化種実」『菅原神社台地上遺跡—東京都埋蔵文化財センター調査報告第 46 集』財団法人東京都教育文化財団 東京埋蔵文化財センター 頁 50-55, 図版 150
- 文献 352 吉川純子 1997「分析調査—曾根八千町遺跡・曾根城跡出土の大型植物化石」『曾根八千町遺跡—大垣市埋蔵文化財調査報告書第 6 集』大垣市教育委員会 頁 102-103, 図版 31
- 文献 353 吉川純子 1999「北青木遺跡出土の大型植物化石」『北青木遺跡発掘調査報告書—第 3 次調査』神戸市教育委員会文化財課 頁 102-105, 104 (Fig. 12)
- 文献 354 吉川純子 2000「神戸市白水遺跡の大型植物化石」『白水遺跡第 3 次・第 6 次・第 7 次 高津橋大塚遺跡第 1 次・第 2 次発掘調査報告書—神戸市白水特定土地地区画整理事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書その 2』神戸市教育委員会 頁 79, 80 (挿図 10)
- 文献 355 吉川純子 (古代の森研究舎) 2010「自然科学分析—沼向遺跡出土種実から見た古環境と植物利用」『沼向遺跡第 4 次～34 次調査—宮城県仙台港背後地土地地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅲ—仙台市文化財調査報告書第 360 集第 9 分冊』仙台市教育委員会 頁 171-191
- 文献 356 吉川純子・南木陸彦 1988「袋低地遺跡の大型植物遺体」『袋低地遺跡—自然科学編 1』東北新幹線赤羽地区遺跡調査会 頁 376, 380, 382, 391-392, 393 (図 IV-9-6)
- 文献 357 渡辺誠 1989「遺物—自然遺物」『本願寺遺跡発掘調査報告書—米原町埋蔵文化財調査報告Ⅻ—県営ほ場整備事業に伴う発掘調査』米原町教育委員会 頁 30-31, PL. 20
- 文献 358 渡辺誠 1989「付論—栗谷遺跡の植物遺体について」『福部村埋蔵文化財調査報告書第 6 集—栗谷遺跡発掘調査報告書Ⅱ』福部村教育委員会 頁 65, 付論図版 2
- 文献 359 渡辺誠 1993「特論 1 斗西遺跡出土の植物遺体について」『能登川町埋蔵文化財調査報告書第 27 集—斗西遺跡 (2 次調査) —本文編』能登川町教育委員会 頁 268, 271, 273-275
- 文献 360 渡辺誠 1994「付篇 8—植物遺体調査報告」『国営総合農地開発事業—母畑地区遺跡発掘調査報告 34 下巻—福島県文化財調査報告書第 288 集』福島県文化センター 頁 407-409, 411
- 文献 361 渡辺誠 1996「自然科学分析と考察—特論 1 正楽寺遺跡出土の自然遺物」『正楽寺遺跡 (5 次調査) —能登川町埋蔵文化財調査報告書第 40 集』能登川町教育委員会 頁 182, 186, 191 (図版 2)
- 文献 362 渡辺正巳 2003「付編 5—出雲国府跡における花粉及び植物遺体分析」『史跡出雲国府跡 1—風土記の丘地内遺跡発掘調査報告書 14』鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター 頁 210, 213-214, 216 (写真 2)
- 文献 363 渡辺正巳 2010「自然科学的分析—道休畑遺跡発掘調査に係る種実分析」『道休畑遺跡—一般国道 9 号 (浜田・三隅道路) 建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書 1』鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター 頁 156-157

- 
- 文献 364 渡辺正巳 2010「自然科学的分析—堂ノ上遺跡で検出した遺構から出土した種実の分析」『堂ノ上遺跡—  
一般国道9号(益田道路)建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書7』鳥根県教育庁埋蔵文化財調査センター  
頁127, 129-130
- 文献 365 亙理俊次 1968「自然環境に関する調査—植物遺物の種類」『八王子中田遺跡(資料篇Ⅲ)』東京都教育庁  
社会教育部文化課—八王子市中田遺跡調査会 頁99-101
- 文献 366 亙理俊次・山内文 1990(1943)「論考編—駿河富士見原古代集落遺跡に関する植物学的研究」『<登呂遺  
跡基礎資料1>登呂遺跡第1次調査の記録—昭和18年(1943年)調査』静岡市立登呂博物館 頁97
- 文献 367 著者不明 1980「出土遺物, その他—植物(果実・種子類)」『鴨遺跡—高島町歴史民俗叢書第二輯』高島  
町教育委員会 頁42
- 文献 368 著者不明 2009「遺物—その他の出土遺物」『平安京右京三条三坊三町跡—京都市埋蔵文化財研究所発掘  
調査報告2009-4』財団法人京都市埋蔵文化財研究所 頁35, 36(図33)

参考表 国別報告書数と時代構成の比較

国名	報告書数	縄文時代	弥生時代	古墳時代	飛鳥時代	奈良時代	平安時代
山城	17		2			2	13
大和	55	1	14	23	11	9	1
攝津	21		10	12	7	3	1
伊賀	2		1	1			
尾張	7		4	3	1		
参河	12		6	8		1	
遠江	6		3	2		3	2
駿河	11		9	3			1
伊豆	1		1				
相模	8		3	5	1	2	3
武蔵	54	2	9	27	5	12	11
上総	8		2	4	1	3	3
下総	10	2		6		4	4
常陸	7			5		1	1
近江	16	1	4	8	3	5	3
美濃	8		5	5			1
下野	6			3		2	2
越前	1	1					
能登	5	1		3		2	
越中	10		4	3		2	4
丹波	1		1	1			
但馬	1			1			
因幡	9		6	7			
伯耆	13	1	10	1		1	1
出雲	3		1	2		1	
播磨	3	1	3				
備前	3		1	3			
備中	2		1	1			
備後	1			1			
安芸	1			1			
周防	2		2				
長門	2		1			1	1
紀伊	3	1	1	1	1		
阿波	1						1
讃岐	4		4				
伊予	7		2	6			
土佐	2		1	1	1	1	1
		11	111	147	31	55	54

註 時代をまたぐ遺跡は、その間の時代も計数しているため、その部分は評価が過大になっていることに留意。

(千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部, 国立歴史民俗博物館共同研究員)

(2018年9月18日受付, 2019年3月28日審査終了)